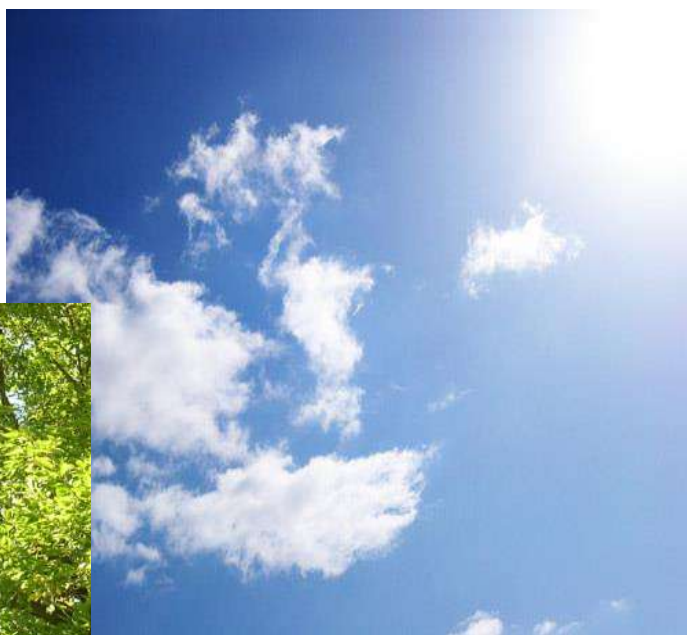
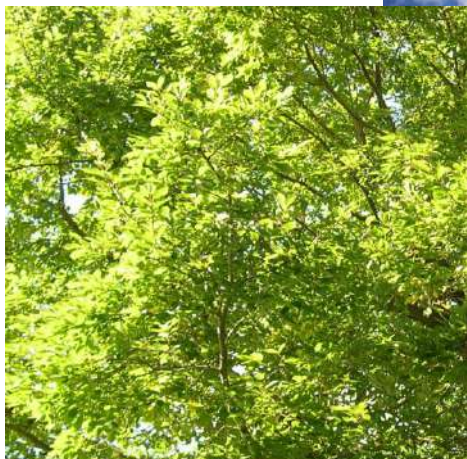


環境委員会
2022年度

2022年度 環境報告書



株式会社大興ネクスタ
ISO14001事務局

2022 年度 環境委員会

プログラム

開催日：2023 年 6 月 23 日（金）

1、環境活動報告

- 販売する住宅における環境負荷の低減
■住まいやすさを向上させる環境に優しい商品の御提案と受注活動

営業課 岡田 真由美

- 本社ビルにおける省エネ・省資源活動
■社内における電気の省エネ活動

管理部 横尾 由紀

- 本社における省エネ・省資源活動
■運転方法の注意喚起・車両取扱いの改善による燃費の向上

管理部 横尾 由紀

2、内部監査結果の評価

内部環境監査員 吉田 智
佐野 卓史

3、記録類の評価

- 外部・内部環境情報

用地開発課 佐藤 淳

- 是正・予防処置報告書

環境管理責任者 町田 守靖

- 環境教育訓練実施記録

建設課 青木 浩子

4、順守評価

環境管理責任者 町田 守靖

5、前回のマネジメントレビューに対する改善状況の報告

環境管理責任者 町田 守靖

6、環境の変化に関する情報及び改善の為の提案

環境管理責任者 町田 守靖

7、外部及び内部の課題・利害関係者のニーズ及び期待

環境管理責任者 町田 守康

8、環境方針の見直し

代表取締役 今井 榮一

環境委員会
2022 年度

環境活動報告

株式会社大興ネクスタ
ISO14001事務局

販売する住宅における環境負荷の低減

住まいやすさを向上させる環境に優しい商品の御提案と受注活動

報告者

営業課 岡田 眞由美

2022年度の環境マネジメントプログラムにおいて、事業推進本部では2021年度に続き「販売する住宅における環境負荷の低減」への取組みとして、「住まいやすさを向上させる環境に優しい商品の御提案と受注活動」を実施致しました。

【営業開発課 取組報告】

今期の取組みとして、前期同様「環境負荷低減商品の提案」を行ってまいりました。営業開発課の活動の中で、戸建分譲販売時には標準仕様としての商品採用に加え、追加オプションの提案、注文住宅受注の際には標準仕様外のオプション提案を行ってまいりました。Co2削減・省資源・住環境・災害対策・健康影響の5項目の影響度を考えた「エコポイント」として評価基準を設定して3年目の取組みとなり、これまでの数値をもとに提案商品とポイント採点表を再考し、改めて目標値を設定致しました。

前年度目標エコポイント：受注棟数（1棟当たり：12ポイント）

前年度結果：棟数11棟×1棟当たり目標ポイント12＝132ポイント に対し、111ポイント獲得（達成率84.09%）

今年度目標エコポイント：受注棟数（1棟当たり：12ポイント）

今年度結果／棟数：分譲5棟・リノベーション1棟 計6棟

目標エコポイント：6棟×12ポイント＝72ポイント

合計エコポイント（95）÷ 目標ポイント（72）＝ 達成率 131.94%

今期は注文住宅の受注棟数がリノベーション物件1棟のみとなり、現在建築中の注文住宅は竣工ベースの計上のため算入されませんでした。

自社施工の5棟については全棟エネファームを採用、1棟当たり平均17.2ポイントとなっております。

昨年度から引き続き、関係業者の協力を得て勉強会を開催し、知識の向上を図りました。（今期開催6回）

来期は、エコポイント採点の取組みではなく、分譲事業および注文建築事業ともにHEAT20・G2レベルに相当する断熱性能への取組みを強化し、その性能を保ち永く住み続けることができる住宅の提供を目指します。

省エネルギーを推奨した商品の採用だけでなく、環境に配慮した設計に努め、より環境に配慮し

た住宅の提供を行い、わかりやすい資料を活用して顧客への十分な説明を行います。

<目標値>

着工棟数の70%をG2相当断熱仕様とする

- ・分譲戸建/設計部門にて採用を働きかける
- ・注文住宅/G2相当断熱の提案を行う

営業担当は設計にて作成した資料を用いて、建物の省エネ性能についての説明を行い、各顧客に対して十分な理解を促し、その性能を持続し続けてもらえるよう働きかけることとします。

また、知識を深めるために必要な勉強会を行います。回数としては半期に一度、全2回程度を予定します。

月	物件名	種別	構造/階数	新築採用品目/エコポイント	注文受注品/エコポイント	受注エコ商品 ポイント
7	吉祥寺南町 全2棟	戸建	SE/2階	宅配ボックス(4×2棟)・EVコンセント(5×2棟) 18		18
8	久我山 全1棟	戸建	SE/2階	エネファーム(9)・宅配ボックス(4)・EVコンセント(5)・G2断熱(11) 29		29
8	世田谷区深沢B号棟	戸建	SE/2階	エネファーム(9)・宅配ボックス(4)・EVコンセント(5) 18		18
11	世田谷区深沢A号棟	戸建	SE/3階	エネファーム(9)・宅配ボックス(4)・EVコンセント(5)・エコカラット(3) 21		21
12	川越市 ■■■ 様邸	リノベ	木造2階	宅配ボックス(4)・EVコンセント(5) 9		9
						0

※分譲案件については①着工ベース(標準仕様として採用したものを計上)・②引渡しベース(お客様の要望で受注したものを計上)、注文案件に関しては竣工ベースにて記載しております。

2022年度 合計ポイント			95	達成率	131.94%
2022年度 目標ポイント	6棟	12	72		

…今期の事業計画棟数にカウントされる棟数

【検査課 取組報告】

検査課の取組みとしては、環境負荷低減商品（エコ商品）1,500万円の売上目標に対して、実績が約1,359万円、達成率90.60%となり、今期目標は未達となりました。

目標金額に140万円程届きませんでした。やはり世相的なインフレや物価高で、お客様の出資マインドは低下していた1年だったと思います。ただ、継続して対応しているお客様からは比較的受注を頂いています。

今後は築20年を超える、老夫婦のみの世帯も増えてきていますので、細かい修理相談に対応しながら関係性を築いていきたいと思っています。

新規のお客様へのアプローチとして、会社近隣へのポスティング活動を行いました。2022年8月、11月、2023年2月、4月と4回ポスティングを実施しましたが、新規の反響は1件（軒樋修理工事）のみとなりました。来期は7月、10月を予定しています。西武バスの放送広告も始まりますので、ポスティングとバス広告を合わせることによる宣伝効果を期待し、地元での周知活動を続けていきたいと思っています。

また、今後もOBのお客様からは、一定数お問い合わせがあると思いますので、新商品等でメリットになるものを知識に入れて、ご提案できるようにいたします。

49期も引き続き、外装メンテナンス工事における遮熱商品のご提案、ランニングコストの節約につながる商品情報に加えて、災害時などにも役に立つ商品もおすすめしてまいります。

6 月度活動報告

目標	販売する住宅における環境負荷の低減
具体的施策	住まいやすさを向上させる環境に優しい商品の御提案と受注活動
目標値	環境負荷低減商品の追加提案 受注金額(税込) リフォーム:1,500万円

受注月	現場名	顧客名	工事内容	受注金額(税込)
7月	品川区旗の台	様	屋根遮熱塗装工事	274,620円
7月	目黒区柿の木坂	様	屋根遮熱塗装工事	261,700円
7月	練馬区石神井町	様	節水型トイレ交換工事	242,000円
8月	練馬区関町北	様	屋根遮熱塗装工事	268,600円
9月	練馬区東大泉	様	屋根遮熱塗装工事	247,404円
9月	新座市野寺	様	1・2階トイレリフォーム工事	600,000円
9月	日野市落川	様	LED照明交換工事	31,900円
9月	板橋区蓮根	様	遮光遮熱ロールスクリーン工事	53,900円
10月	練馬区石神井台	様	屋根遮熱塗装工事	300,230円
11月	杉並区久我山	様	屋根遮熱コロニアル葺替え 外壁遮熱塗料塗替え	2,035,000円
12月	練馬区西大泉	様	節水型トイレ交換工事	418,000円
12月	練馬区田柄	様	キッチンLED照明交換工事	38,500円
1月	練馬区桜台3丁目Ⅱ	様	給湯器エコジョーズ交換工事	220,000円
1月	所沢泉町	様	遮熱屋根コロニアル葺替工事	1,100,000円
1月	練馬区下石神井	様	給湯器エコジョーズ交換工事	220,000円
2月	練馬区富士見台	様	屋根遮熱コロニアル葺き替え工事	1,540,000円
2月	杉並区高井戸西	様	屋根遮熱コロニアル葺き替え工事	1,430,000円
2月	新座市野寺	様	給湯器エコジョーズ交換工事	220,000円
3月	清瀬市松山	様	節水型トイレ交換工事	572,000円
3月	杉並区高井戸西	様	屋根遮熱コロニアル葺き替え工事	1,210,000円
3月	練馬区富士見台	様	給湯器エコジョーズ交換工事	220,000円
4月	練馬区下石神井	様	ペアガラス交換工事	132,000円
4月	練馬区大泉学園町	様	給湯器エコジョーズ交換工事	220,000円
4月	練馬区向山	様	給湯器エコジョーズ交換工事	220,000円
4月	練馬区上石神井	様	EVコンセント工事	132,000円
6月	清瀬市梅園	様	遮熱屋根コロニアル葺替工事	1,122,000円
6月	練馬区下石神井	様	ペアガラス交換工事	231,000円
6月	練馬区下石神井	様	キッチンLED照明交換工事	29,700円
合計				13,590,554円

※上記リフォーム案件については受注ベースにて記載しております。
 ※上記金額は全て税込にて記載しております。

2022年度 合計金額	13,590,554円	達成率	90.60%
2022年度 目標金額	15,000,000円		



報告者

管理部 横尾 由紀

昨年度に引き続き電気の取り組みとして、省電力活動の維持を目的とし、昨年度電気使用量実績値を電力の消費許容範囲と設定し、その範囲内に収まることを目標としております。

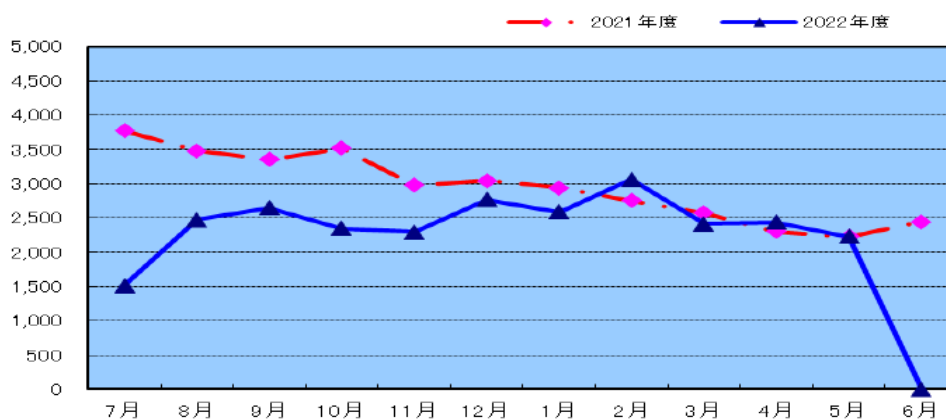
取組として、PC稼働時間を元に個人単位での労働時間計測と、セコム最終セット時間を元にした本社ビル全体の稼働時間計測を行い長時間勤務にならないよう注意喚起を行っています。また省エネの標語発信と、社内パトロールにより、省エネ省資源の意識付けを繰り返し行っています。

2022年度の実績は、2月と4月は許容範囲を超えてしまいましたが、それ以外の月では目標を達成いたしました。

許容範囲を超えてしまった要因といたしまして、3階休憩室冷蔵庫設置、EV車充電器設置・利用による使用量増加によるものと思われまます。

2023年度計画値といたしましては2022年度実績値維持に加え、電気使用増加見込分を加算して電力の消費許容範囲値として設定しております。

【2022年度実績と昨年度との比較】



【 2022年度 実績値 及び 2023年度 計画値 】

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年度 実績値	1,516.0kwh	2,477.0kwh	2,650.0kwh	2,347.0kwh	2,296.0kwh	2,766.0kwh	2,585.0kwh	3,058.0kwh	2,414.0kwh	2,438.0kwh	2,227.0kwh	
2023年度 計画値	2,679.8kwh	3,640.8kwh	3,813.8kwh	3,510.8kwh	2,919.8kwh	3,929.8kwh	3,748.8kwh	4,221.8kwh	3,577.8kwh	3,061.8kwh	2,850.8kwh	

※2023年度計画値は、2022年度実績値に以下の使用量相応分を加算して算出しております。

休憩室2台の冷蔵庫使用 (月/288 kWh)、EV車充電費計測として、サクラ2台・リーフ1台の前に使用していた車の月平均走行距離相応分の充電量、

(走行距離月/2706.5km/3台 1kWh (1000Wh) ÷ 124 = 8.06km 2706.5km ÷ 8.06km = 335.79kWh)

トイレエアコン設置 (6/中旬)による消費電力は、定格消費電力にて1日9時間稼働したとして算出し、エアコン稼働予測期の7~10月、12~3月に追加しております。(0.5kw×1日9時間=4.5KW×30日=135kw/月×4台=540kw)

たのめーる発注時、値段や品質、利便性だけでなく環境のことを考え、環境への負荷ができるだけ小さいものを優先して購入する取り組みを今期より実施しております。

🌱製造過程および廃棄処理にあたって環境に負荷が小さい商品・再生材料を多く使用している商品・消耗部分の交換・補充などにより長期使用が可能な商品・使用後に再使用・再利用が可能で分別廃棄ができる商品の選別を行い、グリーン商品購入率を現況の 50.93%から 70%以上へ引き上げを 2022 年度の目標としております。

取組結果といたしまして、8 月のみグリーン商品対象外のマウスをまとめて購入した事により、達成率 60%と未達となってしまいましたが、その他の月は全て達成となっております。2022 年度のグリーン商品購入率は平均 84.94%と大幅に購入率が引きあがりました。発注担当の事務員の方々のご協力があつての達成となっております。

【たのめーる・グリーン商品購入・達成率】

	たのめーる発注金額	グリーン・エコ商品購入額	達成率
2022 年 7 月	56,668 円	51,360 円	91%
2022 年 8 月	51,525 円	30,902 円	60%
2022 年 9 月	28,380 円	25,578 円	90%
2022 年 10 月	87,807 円	79,243 円	90%
2022 年 11 月	356,814 円	353,089 円	98.9%
2022 年 12 月	47,459 円	39,159 円	82.5%
2023 年 1 月	46,648 円	37,675 円	80.8%
2023 年 2 月	43,250 円	36,359 円	84.1%
2023 年 3 月	61,555 円	53,377 円	86.7%
2023 年 4 月	54,449 円	46,509 円	85.4%

2023 年度の目標につきましては、グリーン商品購入の定着・促進の為、2022 年度実績を超える達成率 85%以上を目標値として設定いたします。グリーン商品購入の取り組みにより、環境負荷を低減し、将来にわたって持続可能な循環型社会が出来る様今後も環境意識を高め、他の環境への取り組みへの波及促進に繋げて参ります。

環境マネジメント計画書(2023年度・49期)

2023/6/1 作成

承認	計画(立案部署:事務局)	作成
21.8.01	21.8.01	21.8.01
21.8.01	21.8.01	21.8.01

環境目標 (環境方針)	具体的施策	目標値	部門	実行責任者	区分	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月			
二酸化炭素排出量の削減	社内における電気省エネ活動	電力消費を抑えることを目標とする。太陽光パネル予断電量を加え、前年度比削減率の維持を目標とする。	全部門	管理部 橋尾	年間計画	1,510.0kwh	2,477.0kwh	2,650.0kwh	2,347.0kwh	2,396.0kwh	2,765.0kwh	3,055.0kwh	2,414.0kwh	2,438.0kwh						
グリーン商品購入の推進	たのめーる系注品を種別・分額でグリーン購入率を上げ	環境活動を行い、グリーン購入率を55%以上とする	全部門	管理部 橋尾	年間計画	2,679.8kwh	3,640.8kwh	3,813.8kwh	3,510.8kwh	2,919.8kwh	3,748.8kwh	4,221.8kwh	3,577.8kwh	3,051.8kwh						
省エネ・省資源 二酸化炭素排出量の削減の提案	住まいやすさを向上させる環境に優しい商品の提案と受注活動	環境負荷低減商品の提案 【設計課】 戸建住宅におけるQ2相当の断熱仕様 採用率70% 【検査課】 受注金額 1,500万円 (リフォーム工事)	プロダクト 事業部 設計課 太田	管理部 橋尾	年間計画	2024年度計画値は2022年度実績値に付帯要約等の改善後使用(月285kwh)、サブ2台-リーフ1台の間に使用していた車の月平均走行距離を相応の電量差を過取 【検査課】 ①注文住宅を一本客棟打合せ時、戸建分譲プロジェクトミーティング時、Q2相当仕様の採用を提案する。 ②戸建分譲販売時には、断熱仕様について、お客様へご説明を行い、説明後お客様から着目サインを頂くこととする。 ③フィールドパッチは設計課、営業課にて毎月25日までに、IS0推進メンバーへ報告、推進メンバーより定例会にて毎月の結果を報告する。 ④販促品を提案するため、プレゼンシートは、設計課、営業課メンバーの意見をもとに必要に応じて半期に一度、見直しを行う。 ⑤半期に一度、設計課、営業課にて、省エネ商品についての勉強会を行い、情報共有、商品知識、商品提案力の向上を図る。 【検査課】 ①リフォーム工事打合せ時(あるいは訪問時)に、エコ商品をご提案する。 ②フィールドパッチは営業課にて毎月25日までに、IS0推進メンバーへ報告、推進メンバーより定例会にて毎月の結果を報告する。 ③兼売品を提案するため、エコ商品提案のリーフレットは、検査課メンバーの意見をもとに必要に応じて、半期に一度見直しを行う。	備考 2024年度計画値は2022年度実績値に付帯要約等の改善後使用(月285kwh)、サブ2台-リーフ1台の間に使用していた車の月平均走行距離を相応の電量差を過取 【検査課】 ①注文住宅を一本客棟打合せ時、戸建分譲プロジェクトミーティング時、Q2相当仕様の採用を提案する。 ②戸建分譲販売時には、断熱仕様について、お客様へご説明を行い、説明後お客様から着目サインを頂くこととする。 ③フィールドパッチは設計課、営業課にて毎月25日までに、IS0推進メンバーへ報告、推進メンバーより定例会にて毎月の結果を報告する。 ④販促品を提案するため、プレゼンシートは、設計課、営業課メンバーの意見をもとに必要に応じて半期に一度、見直しを行う。 ⑤半期に一度、設計課、営業課にて、省エネ商品についての勉強会を行い、情報共有、商品知識、商品提案力の向上を図る。 【検査課】 ①リフォーム工事打合せ時(あるいは訪問時)に、エコ商品をご提案する。 ②フィールドパッチは営業課にて毎月25日までに、IS0推進メンバーへ報告、推進メンバーより定例会にて毎月の結果を報告する。 ③兼売品を提案するため、エコ商品提案のリーフレットは、検査課メンバーの意見をもとに必要に応じて、半期に一度見直しを行う。	10.5kw×1日9時間=4.5kw×30日=135kw/月×4台=540kw)												

環境委員会
2022 年度

内部監査結果の評価

株式会社大興ネクスタ
ISO14001事務局

内部監査結果の評価報告

報告者

内部環境監査員 金丸 直高

脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策について、2020年10月に「2050年カーボンニュートラル」宣言を行ったことにより、住宅・建築物において、省エネルギー化に向けての取り組みの強化がされてきています。

そのような環境に対する社会情勢の変化に対して、弊社の環境マネジメントシステムに影響を及ぼす恐れのある課題に対して、どのように対応し、取り組みを行って実施しているか、以下の項目を重点的に、監査を実施いたしました。

- ① 脱炭素社会に向けた省エネ住宅の**法律改正による対策改善**などについて（長期優良住宅基準など）
- ② SDGs等、環境を考慮した**新たな取り組み、改善策、対応策**などについて
- ③ **環境方針のコミットメント及び要求事項**に対しての計画内容と実施状況について

【監査実施内容】

1. 監査実施日 : 2023年（令和5年）3月9日（木）～10日（金）
2. 対象部門 : 部門監査（環境管理責任者・管理部門・設計課・営業開発課、建設課）
事務所（PM推進課・用地開発課・検査課）
3. 対象現場 : 世田谷区深沢1丁目A号棟
4. 監査員 : 金丸（主任監査員）、吉田、佐野
5. チーム編成 : 1チーム（金丸、吉田、佐野）

監査実施状況としましては、**観察事項4件、改善提案事項3件、良かった点として評価するGoodポイントが2件**でした。前回と比較し、観察事項2件減少、改善提案は変わらず3件、Goodポイントは4件減少となっています。Goodポイントの減少については、前回Goodとして評価したことを1年間継続し続けていることが確認できたため、全体的な取り組みの質が向上し、Goodポイントのハードルが上がった事によるものです。

下記に、指摘事項の概要と該当部署を記載いたします。

【観察事項】4件

1. YKKAPショールームの教育記録において、参加者の記載が一人のみになっていた。 **責任者**
2. 内部監査規定の作成者が、主任内部監査員であるところ事務局になっていた。 **責任者**
3. 年間教育訓練計画の作成者が、管理部のところ事務局が作成している事になっていた。 **管理部**
4. 環境教育実施報告書の名称が確認できず、記録の保管部門が管理部となっているが、管理部では保管していなかった。 **管理部**

【改善提案】3件

1. 遵守事項において、ワクチン接種推奨との記載であるが、実際は各自の判断に任せるとの事だった。 事務所
2. 文書化した情報において、電子媒体も含めて検索・閲覧しやすいように保管がされていなかった。 管理部
3. 1階駐車場のゴミの一部が地下からの避難用ハッチの上に載っていた。 廃棄物保管

【Good ポイント】 2件

1. 不要な DM に対して、今後送信しないように連絡を入れ、ゴミにならないように対策を行っていた。また、会社でエコバックを準備し、買物ビニール袋の削減を検討しているとの事だった。 管理部
2. 近隣より電気引き込みに絡むクレームを受けたが、すぐに関係者を収集し対策方針を決めて対応した結果、3日目には問題解決をすることが出来たとの事だった。 建設現場

監査結果

【前年との比較：部門 指摘事項】

監査部門	軽微不適合		観察		改善提案		合計	
	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022
環境管理責任者				2		1		3
管理部門				2		1		3
設計課								
営業開発課			1				1	
PM 推進課 (事務所監査)								
用地開発課 (事務所監査)								
検査課 (事務所監査)								
建設課								
現場監査 (深沢 1A)								
事務所					1	1	1	1
合計	0	0	1	4	1	3	2	7

【前年との比較：部門 Good ポイント】

監査部門	Good ポイント	
	2021	2022
環境管理責任者	2	
管理部門	1	1
設計課		
営業開発課	1	
PM 推進課 (事務所監査)	1	
用地開発課 (事務所監査)		
検査課 (事務所監査)		
建設課	1	
現場監査 (深沢 1A)		1
事務所		
合計	6	2

所感

今回の監査結果を、前年度の監査結果と部門ごとに比較しました。

前年に引き続き不適合はありません。観察、改善提案に関しては、

観察 1⇒4 件
改善提案 1⇒3 件

に増えていますが、観察事項については記録類の記載内容不備や記録名の整合性といった書類上の軽微な不備、改善提案についてはコロナ関連や、電子媒体管理上のルールといったものです。

Good ポイントについては、6⇒2 件に減っていますが、ゴミ抑制に対する取り組みと、現場における社内コミュニケーションの事例を評価致しました。

【今後の内部監査に関する方針】

- 今回の内部監査の報告に対して、今井代表取締役より以下のコメントを頂きましたので、これらのお言葉を踏まえまして、今後の方針を検証いたしました。
 - 1, 内部監査も今回で **25** 回を迎える事になりましたが、**SDG s** の取り組みは目標に向けて具体的に進んでおり、取り組みは進んでいる事を感じました。
 - 2, 環境方針でも重要課題のひとつとして取り上げている環境に優しい住宅についての取り組みでは、**SE** 構法の採用により、安全・安心な住宅を提供することが重要です。
 - 3, 住宅以外の新しい取り組みでも、ガソリン車から **EV** 車への転換、練馬区葉っぱい基金への寄付、健康経営 **PJ** によるワークライフバランスの改善など行っております。今後も積極的に取り組んでください。
- **SDG s** の取り組みとして、**SE** 構法を採用した永く安全で快適な住宅の提供や、長期優良住宅の普及、**EV** 車導入などによる **CO2** 削減、健康経営優良法人の認定とワークライフバランスの推進を現在行っておりますので、それら活動に積極的に取り組んでいるか、また新しい課題に取り組まれているかを引き続き確認いたします。
- 商品企画室の設立に伴い、**Modula** というブランドの見直しがかかっています。**Modula** というものについての見直し、再定義に伴い、このブランドが環境に対しどのような関わり方をしているのか、**Modula** を推進することでどのような環境影響があるか、そしてブランドの定義した通りに環境に関わっているかを確認致します。
- 脱炭素社会に向けた住宅建築物における省エネ対策について、建築物省エネ法に基づく建築物エネルギー消費性能を満たすために、弊社の建築物として、どのような仕様設備の検討を行っているのか確認します。
- 今回は増員により **3** 人体制での監査を行う事ができましたが、来期は **2** 名体制となるため、早期にもう **1** 名、生産セクションより追加人員導入を検討いたします。
- 内部監査の質の向上と内部監査員のスキルアップを目的に、外部セミナーの受講をいたします。
 - 別紙参考資料
 1. 内部環境監査年間計画書
 2. 内部環境監査実施計画書
 3. 内部環境監査報告書
 4. 内部環境監査不適合事項記録
 5. 内部環境監査観察事項記録
 6. 監査実施写真

ISO14001

様式-1(1)

内部環境監査年間計画書 (2022年度)		監査No		第 25 回		承認		作成				
		発行日		2022年7月15日								
年月	2022年						2023年					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
被監査部門												
環境管理責任者	内部環境監査年間計画方針検討・計画書作成			内部監査員スキルアップ教育	内部環境監査実施計画書（監査対象・監査目的・監査計画）	チェックリスト作成	内部環境監査	内部環境監査報告書作成・提出	環境委員会資料作成	環境委員会		
アセット事業部門（用地開発課）												
アセット事業部門（営業開発課）												
アセット事業部門（PM推進課）												
プロダクト事業部門（設計課）												
プロダクト事業部門（建設課）												
プロダクト事業部門（検査課）												
管理部門												
備考 内部監査の主なポイント 以下の事項を主なポイントとして内部監査を実施いたします。 ・内部監査員の増員、2人体制より3人体制とする ・ウッドショック、コロナウィルス感染拡大による業務への影響 ・脱炭素社会に向けた省エネ対策基準に対する取り組み ・健康経営の取り組みに対する社員の変化 ・全部門への環境マネジメントシステムの取り組み状況の確認												

2014年4月14日改訂

ISO14001

内部環境監査実施計画書

2023年1月13日
 変更後 2023年1月27日

- ・ 1日目の部門監査は推進メンバーの他、実際に業務に従事している課員も出席するようにお願いします。
- ・ ミーティング及び監査の開始5分前には、実施場所へ集合してください。
- ・ 事務所監査には、できる限り下記表の課員の方が出席できるよう、仕事の調整をお願いいたします。
- ・ 現場監査においては、担当の監督が出席するようにお願いします。
- ・ 監査に出席する際には、マニュアル、関連する規定手順書、記録類を持参して下さい。
- ・ 部門、現場等全ての監査について記録をする、書記者提供の協力をお願いします。
- ・ 建築現場の監査については、工事の進捗具合によって変更する場合があります。

監査実施場所一覧表

	打合せ / 被監査部門	実施時間	場 所	備考
3月9日	オープニング・ミーティング	9:15 ~ 9:30	本社2階会議室	
	環境管理責任者	9:30 ~ 10:15		町田
	管理部門	10:30 ~ 11:15		横尾、小泉
	設計課	11:30 ~ 12:15		崔、本山
	営業開発課	13:00 ~ 13:45		渡辺、浦上
	用地開発課	13:45 ~ 14:15		有田、羽染
	PM推進課	14:15 ~ 14:45		福田、高澤
	検査・リフォーム課	17:15 ~ 17:45		小野
3月10日	現場監査 建設（部門監査）	10:30 ~ 12:00	世田谷区深沢1丁目 A号棟	遠藤(寛)、長島
	ゴミ保管状況	13:30 ~ 14:00	各階廃棄物保管場所	横尾
	指摘事項まとめ	14:00 ~ 16:00	本社2階会議室	
	環境管理責任者事前打合	16:30 ~ 17:00		
	クロージング・ミーティング	17:00 ~ 17:30		

2016年9月16日改訂

ISO14001

様式-5 1/3

内部環境監査報告書

提出先 : 代表取締役
写し : 環境管理責任者

作成

[報告日] 2023年4月24日

監査No	第 25 回	監査日	2023年3月9日(木) ~ 3月10日(金)	
主任 内部環境監査員	金丸 直高	対象部門	17日	環境管理責任者・管理・設計・営業開発 事務所(用地・PM推進・検査)
内部環境監査員	吉田 智		18日	建設・現場(世田谷区深沢1丁目A号棟) ゴミ保管状況

[監査結果集計一覧表]

被監査部門	評 価					改善 提案	Good ポイント	合計	備 考
	適合		不適合		観察				
	適合	観察	軽微	重大					
環境管理責任者	4	2				1		7	
管理部門	2	2				1	1	6	
設計課	6							6	
営業開発課	6							6	
建設課	6							6	現場にて監査実施
用地開発課(事務所監査)	4							4	
PM推進課(事務所監査)	4							4	
検査課(事務所監査)	4							4	
現場(世田谷区深沢1丁目A号棟)	5						1	6	
廃棄物保管状況	3					1		4	地下、1階(駐車場脇、奥ゴミ保管場所)、2階及び3階(給湯室)
合 計	44	4	0	0		3	2	53	チェックリスト項目合計 53

2010年10月1日改訂

ISO14001

様式-5 2/3

内部環境監査報告書

提出先 : 代表取締役
写 入 : 環境管理責任者

〔報告日〕 2023年4月24日

監査 No	第 25 回	監査 日	2023年3月9日(木) ~ 3月10日(金)
主任 内部環境監査員	金丸 直高	対象部門	9日 環境管理責任者・管理・設計・営業開発 事務所(用地・PM推進・検査)
内部環境監査員	吉田 智 佐野 卓史		10日 建設・現場(世田谷区深沢1丁目A号棟) ゴミ保管状況

総括所見

2023年3月9,10日の2日間で実施いたしました内部環境監査の結果についてご報告いたします。今回は、昨今の社会情勢の変化を受けて、弊社の環境マネジメントシステムに影響を及ぼす課題(脱炭素社会に向けた①省エネ住宅の法律改正による改善対策、②SDGs等の新たな取り組み、③環境方針のコミットメント及び要求事項に対しての計画と実施)に対して、どのような取り組みを行っているかを重点的に検証致しました。

【前回監査指摘事項の是正確認】

前回監査では、営業にて顧客事項を1件指摘しました。観察事項として指摘した、お客様からの声の社内へのフィードバックについては、マーケティング室および商品企画室で活用しフィードバックしていることを確認致しました。

【組織、商品、サービス等、変化の有無】

今年度は環境方針や組織の変化はありませんでした。当社の取り巻く課題については、「状況分析シート」にまとめられており、課題などがあった場合も、確認しやすくなっておりました。当社の主力商品である、木造建築戸建てでは、昨今のカーボンニュートラルの制限が強くなり、CO2排出制限を建築物にも厳しくなる方向で、断熱基準となるUA値の値が厳しくなっているとの事でしたが、これらについては、仕様の見直し対策は済んでいるとの事でした。今後も断熱等級のさらなる厳しい基準が創設されることになっているので、今後の当社の建築基準の審査を継続して注力して行ってまいります。

【苦情の受理、是正処置に関する監査】

今回監査を実施した世田谷区深沢1丁目A号棟現場において、近隣住民より電気引込に絡むクレームがありましたが、プロジェクトメンバーをすぐに招集の上、対応の方針を固め、翌週には問題の解決を図る事が出来たとの事でした。

【環境側面変更に伴う影響評価の監査】

今回使用した環境マニュアルにて、環境側面評価と内部・外部の課題、順守義務を組み合わせた「状況分析シート」を作成し、そこで当社の利害関係者及びそのニーズと期待を元にリスクまたは機会を分析し、それに応じて取組検討項目を選び出すという新しい方法を取って取りました。SB構法やエコ商品の採用と勉強会実施、営業・リフォームによるお客様へのエコ商品提案は昨年より継続して行われています。また、取組検討項目から車面のガソリンを外し、その代わりにグリーン商品購入の推進を新たな今年目標として加えています。

【遵法に関する監査】

環境に寄与する住宅の設計基準を確認したところ、仕様としては、エネファーム、宅配ボックス、断熱性能のアップ、環境にやさしいクロスを採用しているとの事でした。また、情報の共有については、週1回の設計ミーティングで行っていることが確認できました。また、実施物件においては、プロジェクトメンバーの設計、営業メンバーにて、建築費を検証しながら、事業収支と照らし合わせて建築仕様を決めているとの事でした。営業部門においては、省エネルギー住宅性能に関する物件パンフレットを作成し、販売ツールとして活用しているとの事でした。昨年2022年から省エネルギー住宅の断熱等級などの基準が厳しくなっている状況ですので、引き続き省エネルギー住宅の設計、建築、販売について、社会情勢の動きを見ながら監査を進めてまいります。

【自主向上事項に関する監査】 ※環境目的・目標、実施計画等の進捗状況

環境にやさしい住宅を建築する上での自主基準を確認したところ、設計部門においては、ZEH基準の断熱等級5(UA値0.6)を採用し、2030年の適合義務化に先立ち、対応できる仕様としていました。これにより長期優良住宅の基準もクリアされていることから、住宅購入者にとっても、住宅ローン控除他、税の特例措置に有利となります。建設部門においては自主基準としては、住宅を建設するにあたっては、設計図面を基準として施工を行い、その他の資料としては、「建設マニュアル」、「共通施工基準書」が自主基準になるとの事でした。

【現場監査】

今回は世田谷区深沢1丁目現場A号棟で現場監査を行いました。現在木工事中、5/月末竣工予定となっており、掲示物やゴミ置場など適切に設置されている事が確認できました。また上記【苦情の受理】欄にもある近隣住民からのクレームについても、適切な社内コミュニケーションの上、迅速に対応している事が確認出来ました。

【事務所監査】

今回の事務所監査では、PM、用地開発、検査課を対象に、環境方針・環境目標、SDGsなどについてヒアリングを行いました。PMでは賃貸申込の関連書類のペーパーレス化を意識しているとの事。用地開発では在宅業務の推奨、電車での移動を積極的に促すなど、各部門で環境に配慮する取り組みが各部門で実施されています。

2010年10月1日改訂

ISO14001

積極的に取り組むと、各部門とも環境に対し、前向きな意見が多く聞かれました。

【SDGsへの取り組みに関する監査】

SDGsに対する取組の状況について、今回より確認を行いました。部門監査・事務所監査問わず、全部門でヒアリングを行いました。SDGs17のゴールのうち、弊社が取り組む3つの重要課題として「持続可能な不動産の新たな価値創造」「環境と事業の共生」「安心・安全な地域社会と職場環境」を掲げ、それぞれにSDGs17のゴールのうち計8個をピックアップして割り振り、重点目標としておりました。この課題設定を、パンフレットの形にして全部署で共有し、また社外の方々にもお渡しできる状態になっていました。またSDGsの活動として、建設現場で基礎工事を行う際に、檜の土台から排出される削り材を、小さな袋に入れて、靴箱の消臭などに使えるようにして、お客様にお渡しなど活用している事が確認出来ました。

【環境保全施設の管理状況、パフォーマンスの監査】

ゴミの集積に関して1階駐車場奥の段ボール・紙ごみ・産廃保管場所、1階駐輪場に臨時に設置された産廃保管場所、2階・3階の給湯室とコピー室にあるゴミ保管状況と分別状況を確認しました。臨時に駐輪場に置かれた産廃が、地下から避難するための緊急避難はしごの開閉口をふさいでいたため、ふさがり位置に動かすよう指導しています。

今回は、社会情勢変化に伴い発生した環境マネジメントシステムに影響を及ぼす事項に対して、各課員が課題を認識しているか、どのような取組みをしているか、またマニュアルが実際の業務推進内容と整合性が取れているか、という部分を確認いたしました。今回も部門監査と事務所監査にて全部門に監査を実施しました。監査結果として、**観察事項4件、改善提案事項3件**、良かった点として評価する**Goodポイントが2件**でした。前回と比較し、**観察事項2件減少**、**改善提案変わらず**、**Good4件減少**となっています。ただしGoodの減少については、前回Goodとして評価したことを1年間継続し続けていることが確認できたため、全体的な取組みの質が向上し、Goodのハードルが上がった事によるものです。

今回の監査総合評価としましては、省エネ住宅の法律改正に対する改善が関係部署で行われていること、SDGsへの認識が各部署で共有されていること等が確認でき、また観察も文書名の表記漏れなど、記載に関するものが多く活動自体はしっかりと行われておりました。

総じて、前向きな行動と活動のレベルアップが見て取れたので、「**やや向上**」と判断致します。

2010年10月1日改訂

ISO14001

様式-5 3/3

[監査結果]

評価	内部監査結果(是正要求事項)	不適合事項記録№、ISO規格
観察	社員に対して確実に認識させる内容の確認として、社員が受講した教育記録を確認したところ、2022年10月13日YKKAPショールーム訪問の参加者が、遠藤花林さんのみになっており、合計人数も空欄で、同行者が誰だったのか確認ができませんでした。	7.3 認識 (環境管理責任者)
観察	文書管理規定において、内部監査規定については作成担当は主任内部監査員となっていますが、最新版の内部監査規程の作成者が事務局員の押印になっていました。	7.5.1 文章化した情報 一般 (環境管理責任者)
観察	環境教育訓練規程の4-(1)にて、「管理部が、年間教育・訓練計画を毎年度末に立案し、環境管理責任者が承認する」とありますが、管理部では行っていないとの回答でした。併せて環境教育訓練統括プログラムを確認したところ、作成印が事務局員のものになっておりました。	7.5.3 文章化した情報の管理 (管理部門)
観察	付表3. 環境管理記録一覧表の7.3認識(教育訓練)での管理記録として「環境教育実施報告書」という記載がありますが、この名称の文書が確認できませんでした。また、原本保管部門が管理部となっておりますが、管理部では保管していないとのことでした。	7.5.4 文章化した情報の管理 (管理部門)
改善提案	「法的及びその他の要求事項一覧表」の、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針での手続き、順守事項にて、「ワクチン接種推奨」と記載ありましたが、実際は各自の判断に任せるとい事でしたので、記述の見直しをはいかがでしょうか。	6.1.3 順守義務 (環境管理責任者)
改善提案	7.5.3文章化した情報の管理の(2)にて、「電子媒体も含め検索・閲覧しやすいよう保管する」とありますが、Chatterに保管された教育記録データを検索したところ、検索結果一覧では実施日や内容が解りづらかったので、データの名称に日付や内容を入れる等、ルール化をはいかがでしょうか。	7.5.3 文章化した情報の管理 (管理部門)
改善提案	1階駐車場のゴミを確認したところ、ゴミ廃棄業者の八菜に持っていくために、一時的に保管している駐輪場のゴミの一部が、地下からの非常用避難はしごの開閉口の上に載っており、地下から開けない状態になっていました。	8.1 運用の計画及び管理 (廃棄物保管状況)
Good	環境に関する取り組みとして、紙ゴミ抑制のために、不要なDMをビッグアップし今後送ってこないように、送信先に連絡を入れる対応を行っているとのことでした。また、今後は社内にてエコバックを準備し、昼食の買い出しなどで出るビニール袋を削減することも検討しているとのことでした。	4.4 環境マネジメントシステム (管理部門)
Good	先週の3月3日金曜日に、近隣より電気引き込みに係るクレームを受けましたが、すぐに動いて関係者を集め対応の方針を固め、スピード感のある対応を行った結果、翌週3月8日の月曜日には問題を早期に解決することが出来たとの事でした。	7.4.2 内部コミュニケーション (建設・現場)

代表取締役コメント	確認
<p>内部環境監査も今回で25回目を迎えることとなりましたが、SDGsの取り組みなどは、目標の達成に向けて具体的に進捗しており、社員の皆さんの環境に取り組む姿勢が、着実に進んでいると感じました。</p> <p>環境方針でも重要課題の一つとして掲げている、環境にやさしい住宅の実現に向けての取り組みでは、SE構法の採用により、世代を超えて長く、安心・安全で快適に住むことが出来る家を提供することが重要であります。</p> <p>住宅以外の取り組みでも、ガソリン車からCO2排出のないEV自動車への転換、また、練馬区みどりの葉っぱい基金への支援を実践し、健康経営での取り組みでは、優良法人の認定を受けて、ワーク ライフ バランスの推進を行っております。今後も環境に寄与する、新しい取り組みに積極的に挑戦し、成果を積み重ねて、活動を持続的に進めていくようお願いいたします。</p>	<p>フォローアップ確認 次回監査にて確認</p> <p>■ 必要 □ 不要</p>

2010年10月1日改訂

【オープニング・部門監査】 2023.03.09・10



オープニングミーティング



環境管理責任者



管理部門



設計課



PM 推進課



検査課



営業開発課



用地開発課

【現場監査】 2023.03.10

世田谷区深沢1丁目



現場監査



現場監査



現場監査



現場監査



現場監査



現場監査

【ゴミ保管状況・責任者事前打合わせ・クロージング】 2023.03.10



3階ゴミ保管場所



2階ゴミ保管場所



1階ゴミ一時保管場所



駐車場ゴミ保管所



駐車場ゴミ保管所



クロージングミーティング



クロージングミーティング

環境委員会
2022 年度

記録類の評価

株式会社大興ネクスタ
ISO14001事務局

外部・内部環境情報

報告者 用地開発課 佐藤 淳

今期は外部情報 14 件、内部情報 0 件の発生数となっております。
昨期、26 件に比べ今期は 14 件の発生となっております。

今期の内訳をみますと、過去弊社で分譲したお客様からの建物不具合や経年劣化からくる情報が 7 件、解体関連が 2 件、施工関連 2 件、ポストティング 1 件、賃貸関連 1 件、その他 1 件の内訳となっております。

今期は 14 件とここ数年間で最も低い水準となっております。

要因としましては、解体を依頼できる業者が増えたことにより、解体する建物の規模や構造によって解体業者を分けることによって、昨期はクレームが 8 件ありましたが、今期は 2 件と大幅に減少しております。

来期に関しては、やむを得ないクレームを除き、引き続き、各工事が着工する前にお客様や業者様との関係性を継続するとともに、全社や課内、プロジェクトに関わる人に対しての情報共有をしていきます。

外部・内部環境情報の発生状況は次頁の通りです。

【48期 外部/内部環境情報】

報告日:令和5年6月9日

外部情報 計14件 内部情報 計0件

内/外	報告者	件数	内容		
外部	長山係長	1	日時	令和4年7月27日	
			場所	渋谷区富ヶ谷2丁目	
			相手	■■■■■	
			内容	当社の外周ブロックを施工した際にモルタルがハヤサカ様側にはみ出ている箇所がある。	
			対応	施工上のミスのため、施工会社■■■■■にて対応。	
			環境情報に該当	×	施工技術の問題のため、環境情報には該当しないと判断。
			是正の必要性	有	※無の場合は理由:
			再発防止策	施工業者の現場に入る職人によって技術の差があるため、■■■■■様より指導を行っていただき、職人の技術を同質にし、再発防止に努める。	
再発防止の有効性(妥当性)の確認	妥当	次現場以降の外周ブロック施工時に有効性を確認する。			
内/外	報告者	件数	内容		
外部	長山係長	2	日時	令和4年9月25日	
			場所	多摩市貝取C号棟	
			相手	■■■■■	
			内容	駐車場土間の雨染が再発生	
			対応	土間とCBの突き合わせ部分にカッターを入れ、7~8cm程度のスリットを設け、毛細管現象が生じないようにする。(一部試行し、一定の効果が見られたので、水ジミの発生している土間の外周部全てに実施)10月中旬頃■■■■■にて施工。 ※日程調整中	
			環境情報に該当	×	地質、地盤に関係する問題であり、環境上場には該当しないと判断。
是正の必要性	有	※無の場合は理由:			
再発防止策	本現場は隣地が斜面地である事や、斜面地からの浸透地下水の影響で地下水位が高い、という特殊な現場であるが、今後も水はけの良くない物件などでは外構計画時にも細部に気を配り、似た事案が発生しないように努める。				
再発防止の有効性(妥当性)の確認	妥当				
内/外	報告者	件数	内容		
外部	小野課長	3	日時	令和4年10月1日	
			場所	世田谷区桜上水3丁目C号棟	
			相手	■■■■■	
			内容	①トイレ手洗の封水が切れる。 ②機能門柱 宅配ボックス 雨の時に中の郵便物が濡れる。	
			対応	①トイレ排水に、手洗い排水を接続している際、トイレ排水時に注射器効果による、手洗い封水が引っ張られる事例が発生しております。中間にドルゴなどのエア抜きを設置し対応。 ②開閉扉部分の内枠に水返しが無いため雨が内側に回り込む仕様となっているため、ボックス内の底上げをし水返しをつけ対応。今後、水返しのついている宅配ボックスを使用する。	
			環境情報に該当	×	施工上の注意と商品の採用の問題であり、環境情報には該当しないと判断。
			是正の必要性	有	※無の場合は理由:
再発防止策	①トイレ排水に、手洗い排水を接続する際の施工を注意する ②次現場より商品の見直しを行う				
再発防止の有効性(妥当性)の確認	妥当				

【48期 外部/内部環境情報】

報告日:令和5年6月9日

外部情報 計14件 内部情報 計0件

内/外	報告者	件数	内容		
外部	小野課長	4	日時	令和4年10月4日	
			場所	北区中里3丁目A号棟	
			相手	■■■■■	
			内容	①フロートタイプの下駄箱に鏡を設置すると重さによる、変形、垂れ。 ②洋室のエアコンとカーテンが干渉する。	
			対応	①鏡の先端に重さ受けの足を設置。 ②エアコンを設置するビスを変更。	
			環境情報に該当	×	施工上も問題のため、環境情報には該当しないと判断。
			是正の必要性	有	※無の場合は理由:
			再発防止策	①フロートタイプの下駄箱に鏡を設置する際は重さ受けの足を設置するか、鏡設置時はフロートタイプにしない。 ②間取りやサッシの位置を考え設計を行う。	
再発防止の有効性 (妥当性)の確認	妥当				
外部	小野課長	5	日時	令和4年11月17日	
			場所	武蔵野市吉祥寺本町4丁目	
			相手	■■■■■	
			内容	バルコニーの保護塗装の激しい劣化	
			対応	バルコニーに置き敷をしていたため	
			環境情報に該当	×	
			是正の必要性	有	※無の場合は理由:
			再発防止策	販売時に見栄えだけでなく性能を理解し販売をする	
再発防止の有効性 (妥当性)の確認	妥当				
外部	小野課長	6	日時	令和4年12月18日	
			場所	杉並区久我山4丁目2号棟	
			相手	■■■■■	
			内容	2階ユニットバスからの水漏れ	
			対応	2007年にユニットバスドア下からの水漏れが発生。それから、ほぼ毎年水漏れを発生しており、その都度対処してきましたが今月14日にまた水漏れ発生。原因がわからず、外部からの止水は難しいと判断しました。対応として今まで、15年以上にわたりご迷惑をお掛けしております。このような状況でも、お客様との関係も良好で今後のリフォーム等のお付き合いもありますのでユニットバスを 弊社負担で交換する予定です。	
			環境情報に該当	×	
			是正の必要性	有	※無の場合は理由:
			再発防止策	施工上もしくは商品に問題がある可能性あり	
再発防止の有効性 (妥当性)の確認	妥当				

【48期 外部/内部環境情報】

報告日:令和5年6月9日

外部情報 計14件 内部情報 計0件

内/外	報告者	件数	内容		
外部	渡辺主任	7	日時	令和5年3月11日	
			場所	杉並区久我山2丁目	
			相手	■■■■■	
			内容	①当社の建築工事着工前に挨拶がなかった。隣地の三井ホームに関しては何度も挨拶に来ていた。 ②工事中も臭い、音、ゴミなどがあった。 ③藍尾様が庭掃除をしている際に当社建物裏側で作業している方に話掛けて「目隠し等付きますか」と質問した際、話掛けられた方が図面を確認して何もつかない事を説明したそうです。その後、その方から「お互い様ですから」と言われた。	
			対応	■■■■■ 側洋室の掃き出し窓がお互い丸見えの状態である為、そこに目隠し(フェンスや植栽)をして欲しいと要望があるため、社内で検討。	
			環境情報に該当	×	
			是正の必要性	有	
再発防止策	3月27日に藍尾様宅に訪問し、当社と■■■■■ 宅との間のブロックフェンスを現状の1600から2200に増やし目線が気にならないように是正することとなる。				
再発防止の有効性(妥当性)の確認	妥当				
内/外	報告者	件数	内容		
外部	小野課長	8	日時	令和5年3月22日	
			場所	相模原市西橋本3丁目28号棟	
			相手	■■■■■	
			内容	お子様が、外壁側の壁に穴をあけてしまったところ断熱材が入って無かったので確認してほしいとのこと。写真をもらいましたが、窓下で、入っている形跡がない状況です。	
			対応	「テンダー21」という断熱材一体のパネル使用していて、断熱材は施工されている。厚みが30mmのスタイロフォームの上にシートが貼られていて、見ただけでは断熱材が入っていないように見えてしまっただけで、仕様書を提示し納得頂いた。	
			環境情報に該当	×	
			是正の必要性	有	※無の場合は理由:
再発防止策	「テンダー21」は廃盤となっているため問題ない				
再発防止の有効性(妥当性)の確認	妥当				
内/外	報告者	件数	内容		
外部	小野課長	9	日時	令和5年3月28日	
			場所	練馬区早宮2丁目F号棟	
			相手	■■■■■	
			内容	1階LD窓上、エコカラットの剥離、割れが発生。原因として考えられるのが下地の収縮によるものです。SE工法ですと、梁、柱の乾燥収縮は少ないのですが、窓上とゆうことで陽が当たる窓で乾燥収縮が通常より大きく出ていると考えます。さらに、エコカラットの目地が突合せでほぼ収縮しない事から、余地が無く剥離したと考えます。	
			対応	目地をカットして、シーリングで目地を作り収縮に対応できるように是正。	
			環境情報に該当	×	
			是正の必要性	有	※無の場合は理由:
再発防止策	今後、施工でエコカラット、タイル等を壁面に貼る場合は伸縮目地等を考慮する。				
再発防止の有効性(妥当性)の確認	妥当				

【48期 外部/内部環境情報】

報告日:令和5年6月9日

外部情報 計14件 内部情報 計0件

内/外	報告者	件数	内容		
外部	高野係長	14	日時	令和5年5月18日	
			場所	杉並区高井戸東3丁目	
			相手	■■■■■	
			内容	長尾様側の養生が道路から3mぐらいまで撤去され、細かい破片が飛んできたり、汚れがついている。	
			対応	■■■■■さんから長尾様にすぐにお電話し、翌日、養生を再設置することとなる。お電話から30分後ぐらいに■■■■■さんが現地を確認し対応	
			環境情報に該当	×	
			是正の必要性	有	※無の場合は理由:
			再発防止策	解体で破片などが飛ぶ恐れがある工事が終わるまでは養生をできるだけ高い位置のままにしていた	
			再発防止の有効性(妥当性)の確認	妥当	

今年度も「是正・予防処置報告書」を作成する案件は発生しませんでした。また、外部審査・内部監査からの不適合もございませんでした。外部内部環境情報から環境に関わる情報の発生もございませんでした。

一方、社内の環境改善を目的として導入した「社内パトロール」は丸4年が経過し、5年目を迎える事となりました。毎回苦勞しながら取り纏めをして頂いている姿を見ていて感謝をしている次第です。この取り組みは、問題発見→問題提起の段階を抜けつつある事から、毎月の実施を各月実施へと回数を減らす事としました。今後は問題解決と再発防止対策の実施を課題と認識して活動して参ります。発見した課題を最後まで解決する責任が果たせるように引き続き活動への理解をお願い致します。今期も多くの視点から問題提起をさせて頂いております。

- ・ 駐車場物干しの改善
- ・ 目の届かない場所に放置されている物の発見と改善
- ・ ごみの分別、ごみの処分

しつけの様な項目ですが、一つ一つの積み重ねが大きな変化を生むと信じて継続して参ります。

これら以外にも、毎月の定例会議において様々な問題提起を実施しており、社内環境の改善などに努めています。

- ・ 会社共有の長靴の取り扱い
- ・ 不要DMの発送停止依頼
- ・ 不要クリアホルダー、リサイクル機関へ回収
- ・ 地下のネット環境整備
- ・ 2Fブラインド設置
- ・ オフィスチェア入替
- ・ ポロシャツ導入
- ・ 造花、グリーンの入替

今後も様々な活動を通じ、環境改善とコスト削減の提案を実践し、より良い職場環境を構築して参ります。

今期の一般教育では、ISO の取り組みについて周知する事に加え、ISO14001 とは何か、なぜISO14001 に取り組むのかを説明し、活動の意義を改めて全体で共有できるよう図りました。また昨年に引き続き、今後の会社で取り組む CO2 削減計画についての説明と、SDG s について理解を深めるための説明を組み込んでいます。

昨年はオンラインで全社員一斉に一般教育を実施しましたが、オンラインということで、反応が解りづらいため、今期は部署ごとに会議室を利用して実施しました。資料についてはペーパーレスとして印刷せずに画面共有で行い、教育終了後 Chatter でシェアしています。

また、環境負荷低減商品の追加提案に関わる活動としては昨年に引き続き、営業開発課主催でエコ商品についての勉強会を実施しています。昨年は、商品知識・提案力向上によるスキルアップを目標として、営業課メンバーが順番に講師を務めてエコ商品に関する勉強会を行いました。今期は専門業者、メーカーに依頼し、エコ商品に関する勉強会を開催いたしました。SE 構法に関する勉強会については、建築中の現場にて、集成材や接着剤、釘ピッチ、アンカーボルトなど、構造について、実物を見て確認し、質問を挟みながら説明していただき、より理解を深めることができました。

内部監査教育では、BSI グループによる、内部監査のスタンダードな流れと判断基準を改めて確認する内容のものを受講しています。

教育種類	内 容	対象部門 及び対象者	実施日
従業員教育 (一般教育)	(1)環境方針の周知・徹底。環境マネジメントシステムの変更点及び、今期環境マネジメントプログラムの内容についての確認。 (2)自分の業務に関係する著しい環境側面及びそれに伴う顕在する又は潜在的な環境影響 (3)環境パフォーマンスの向上によって得られる便益を含む、環境マネジメントシステムの有効性に対する自らの貢献 (4)組織の順守義務を満たさないことを含む、環境マネジメントシステム要求事項に適合しないことの意味 (5)前期内部監査の結果、外部審査での指摘事項などの情報共有 ※その他、内部監査・外部審査、今後の CO2 削減計画、SDG s についての説明。	アセット事業部 プロダクト事業部 管理部	(一般教育) 2022. 8~9 月
内部環境 監査員教育	第三者機関による講習受講。 (ISO14001 内部監査員研修 2 日間コース)	内部監査員	2022. 10. 12 ~ 13
特別教育	エコ商品の提案に関する定期勉強会 <対象商品：SE 構法>NCN	アセット事業部 営業開発課	2022. 07. 08
	エコ商品の提案に関する定期勉強会 <対象商品：SE 構法>NCN	アセット事業部 営業開発課	2022. 07. 15
	エコ商品の提案に関する定期勉強会 <対象商品：断熱材>野原住環境・旭ファイバーグラス	アセット事業部 営業開発課	2022. 09. 08
	エコ商品の提案に関する定期勉強会 <対象商品：石膏ボード>吉野石膏	アセット事業部 営業開発課	2023. 01. 12

環境教育訓練統括プログラム

承認	作成
環境管理責任者	管理
	

株式会社 大興ネクスタ

作成日：2022年6月10日

項目	教育名/対象者	形態	教育内容	実施方法	実施責任者	実施時期												
						7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
一般	一般教育/全員	社内教育	・ 今期目的・目標の理解と現状の進捗状況 ・ ISOの活動として日々社内 で実施している事、会社が取 り組んでいる具体的な内容の 理解	推進メンバー、及び推進メンバ ーより依頼された各部教育担 当者による講習	検査課 渋谷													
一般	内部監査員 レベルアップ教育 /内部監査員	外部 講義	監査手法と技術の向上	第三者機関等による 講習受講	管理部 吉田													
特別	環境負荷低減商品 勉強会/営業開発 課・設計課	社内 教育	環境負荷低減商品についての 勉強会を行い、情報共有、商品 知識、商品提案力向上を図る	四半期に一度実施。教育方 法は資料に基づく説明・業 者による説明等、内容に応 じてその都度決定する。	建設課 青木													

保管期間：作成日より5年

環境委員会
2022 年度

順守評価

株式会社大興ネクスタ
ISO14001事務局

順守評価

報告者

環境管理責任者 町田 守靖

当社が定めた法的要求事項及び、組織が同意するその他の要求事項についての順守評価は、引き続き毎月の定例会にて確認をしております。添付の資料の通り、今年度も順守に問題はありませんでした。また、環境法令を取り纏めた「法的及びその他の要求事項一覧表」は2022年9月21日に更新を行い運用しています。主な更新内容は、新型コロナに関わる感染症予防対策に関するものと、グリーン購入を推進する方針について新たに記載をしております。また、運用面では、アスベストの管理領域が拡大されたことを受けて、解体現場や社内改修工事においても事前調査の手順が増えております。特に工事に影響するようなアスベストの発生はございませんが、法改正や法施行後の対応を徹底して行って参ります。なお、外部審査及び内部監査では、不適合のご指摘は頂いておりません。

法令等の順守については、漏れなく完璧に遂行する必要があります。その事を肝に銘じて、引き続き、情報収集に努めて参ります。

事業推進本部 2022年度 更新日: 2023/6/10
順守評価

環境法規制等の名称/略称	主な要求事項	仕入契約日	2022/9/15										
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
		現場名	2022/9/15	2022/9/26	2022/10/9	2022/11/26	2022/11/26	2022/11/26	2022/12/6	2022/12/23	2022/12/23	2022/12/26	2023/1/30
		処理 該当部門	杉並区 高井戸東3	世田谷区 代沢1	豊島区 雑司が谷2	武蔵野市 西久保1	武蔵野市 吉祥寺北町1	武蔵野市 白山5	文京区 大塚5	世田谷区 上馬4	世田谷区 深沢5	中野区 中野5	
		現場名	該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
1	廃棄物処理法 (1) 事業活動に伴い生じた廃棄物を自らの責任で適正処理、または文書で廃棄物処理業の許可を有する処理業者(委託)に委託。 (2) 産業廃棄物管理表(マニフェスト)制度のつとり排出事業者が最終処分場まで把握することと義務付け。	開発課	該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
2	労働安全衛生法 雨水・汚濁水建築物において特定粉塵除去作業を行う場合、工事着手14日前までに労働基準監督署へ届出が必要。	建設課	該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
3	指定副産物利用促進省令 【再生資源利用促進計画の作成】 ・体積が1000m ³ 以上である建設発生土 ・重量が200t以上であるコンクリート塊、ブロックコンクリート塊、建設発生木材	開発課	該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
4	建設リサイクル法 ・特定建設資材使用かつ一定規模以上の建築、解体工事は分別解体を実施 ・対象建設工事を行う場合は、工事着手7日前までに知事へ届出	建設課	該当有無	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
5	家電リサイクル法 特定家庭用機器は各自治体の処分方法に基づき、処分しなければならない。 【特定家庭用機器】ウインドウ型・セパレート型エアコン/電気冷蔵庫/フラウカン管テレビ/電気洗濯機	開発課	該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
6	建設廃棄物処理指針 活でい、焼却、焼プラ、建設木くず、金属くず、ガラスくず建設廃材、コンクリート、コンクリート破片など。マニフェストに基づく適正処理の実施。	建設課	該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無

事業推進本部 2022年度 更新日: 2023/6/10
順守評価

環境法規制等の名称/篇数	主な要求事項	仕入契約日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		処理	該当部門	現場名	2022/9/15	2022/9/26	2022/10/9	2022/11/26	2022/11/26	2022/12/6	2022/12/23	2022/12/23	2022/12/26
7 石綿含有廃棄物等処理マニュアル(第2版)	現場調査及び撤出時、あらかじめ、固型化、蒸留による安定化その他これに類した措置を講じた後、耐水性材料で2重にこん包。	開発課	該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
		建設課	処置内容										
8 大気汚染防止法	特定粉塵排出等作業を行う場合、工事発生14日前迄に知事への届出要。【特定粉塵】灰付石綿(アスベスト)以外石綿を含有する新築材料(床材及び耐火被覆材)の場合も施工面積に問わず全て該当	開発課	該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
		開発課	処置内容										
9 フロン排出・抑制法	自動車のカーエアコンと業務用冷凍空調機に冷媒として使用されるフロンが対象。ユーザー、フロン回収業者、破壊業者の役割分担により適切にフロン類の回収・破壊処理を進めていかなければならない。	開発課	該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
		開発課	処置内容										
10 建築基準法	居室を有する建築物は、その居室内において政令で定める化学物質の発散による衛生上の支障がないよう、建築材料及び換気設備について政令で定める技術的基準に適合するものとならなければならない。	設計	該当有無										
		設計	申請結果										
		設計	検査結果										
11 騒音規制法	特定建設作業を行う場合、工事着手7日前返に届出要 【特定建設作業】 1.くい打機、くい強機又はくい打機、くい強機及び打機 3.さく掘機 4.空気圧掘機 5.コンクリートポンプ又は7.27.157.17.16.ハンクホウ 7.トラクターショベル 8.フルドーザー	開発課	該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
		建設課	処置内容										

事業推進本部 2022年度 更新日: 2023/6/10
順守評価

環境法規制等の名称/略称	主な要求事項	仕入契約日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		処理	該当部門	現場名	2022/9/15	2022/9/26	2022/10/9	2022/11/26	2022/11/26	2022/12/16	2022/12/23	2022/12/23	2022/12/26
12 振動規制法	特定建設作業を行う場合、工事着手7日前迄に届出 【特定建設作業】 1.くい打機、くい掘機又はくい打くい掘機 2.鋼球を使用して破砕する作業 3.鋼錠圧砕機 4.ブローカー(手持式のものを除く。)	開発課	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
		届出	該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
13 土壌汚染対策法	有害物質使用特定施設に係る工場又は事業場の敷地であった土地の所有権者は、当該土地の土壌汚染の状況について、環境大臣が指定する者(指定調査機関)に調査させて、その結果を都道府県知事に報告	開発課	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
		処置報告	該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
14 景観法	条例で定める景観計画区域内(0.1ha以上の区域) 屋外の土石、廃棄物、再生資源ほかの堆積(高さ1.5m以上)含む 知事、指定市、中核市の長への届出	開発課	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
		建設課	該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
15 作業所等同意するその他の要求事項	騒音・粉塵の発生する作業 ・時間外での作業は事前に通達する ・18歳以降禁止 ・粉塵の発生防止 ・アイドリングストップ	開発課	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
		建設課	該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
16 都市計画法	・1,000㎡以上の開発許可区域の特定区域 ・(特定開発の規模)300㎡～1,000㎡の範囲で定めず ・30,000㎡以上の開発許可を行う場合は、その開発許可申請書提出後、10日以内の期間に、当該開発行為の区域の2%以上の公園、緑地又は広場の設置が必要。	開発課	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
		建設課	該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無

事業推進本部 2022年度 更新日：2023/6/10
順守評価

環境法規制等の名称/略称	主な要求事項	仕入契約日		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		処理	現場名	2023/1/30	2023/2/27	2023/3/6	注文住宅 吉住寺南町	2023/4/13	2023/5/18	2023/5/30			
1 廃棄物処理法	(1) 事業活動に伴い生じた廃棄物を自らの責任で適正処理、または文書で廃棄物処理業の許可を有する処理業者)に委託。 (2) 産業廃棄物管理表(マニフェスト)制度のつとり排出事業者が最終処分場まで把握することと義務付け。	開発課	該当有無	無	無	無	無	無	無	無			
		建設課	処置内容				有						
2 労働安全衛生法	雨水・湧水・建築物に於いて特定粉塵除去作業を行う場合、工事着手14日前までに労働基準監督署へ届出が必要。 【再生資源利用促進計画の作成】 ・体積が1000m ³ 以上である建設発生土 ・重量が200t以上であるコンクリート塊、ブロックコンクリート塊、建設発生木材	開発課	該当有無	無	無	無	無	無	無	無			
		建設課	処置内容				有						
3 指定副産物利用促進省令	特定建設資材使用かつ一定規模以上の建築、解体工事は分別解体を実施 ・対象建設工事を行う場合は、工事着手7日前までに知事へ届出	開発課	該当有無	有	有	有	有	有	有	有			
		建設課	処置内容	○	○	○		○	○	○			
4 建設リサイクル法	特定密着用感温は各自治体の処分方法に基づき、処分しなければならない。 【特定家庭用機器】ウインドウ型・セパレート型エアコン/電気冷蔵庫/プラカン管/テレビ/電気洗濯機	建設課	該当有無										
		開発課	処置内容										
5 家電リサイクル法	活でい、焼却、焼プラ、建設木くず、金属くず、ガラスくず建設廃材、コムくず、コンクリート破片など。マニフェストに基づく適正処理の実施。	建設課	該当有無	無	無	無	無	無	無	無			
		開発課	処置内容										
6 建設廃棄物処理指針		建設課	該当有無	無	無	無	無	無	無	無			
		建設課	処置内容				有						

事業推進本部 2022年度 更新日： 2023/6/10
順守評価

環境法規制等の名称/略称	主な要求事項	仕入契約日		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		処理	該当部門	2023/1/30	2023/2/27	2023/3/6	注文住宅 吉住寺前	2023/4/13	2023/5/18	2023/5/30			
7 石棉含有廃棄物等処理マニュアル(第2版)	現場調査及び撤出時、あらかじめ、固型化、蒸留による安定化その他これによる措置を講じた後、耐水性材料で2重にこん包。	該当有無	無	無	無	無	注文住宅	2023/4/13	2023/5/18	2023/5/30			
	開発課	無	無	無	無	無	注文住宅	2023/4/13	2023/5/18	2023/5/30			
8 大気汚染防止法	特定粉塵排出等作業を行う場合、工事発着14日前迄に知事への届出要。【特定粉塵】灰付石綿(アスベスト)以外石綿を含有する新築材料(塗料及び耐火被覆材)の場合も施工面積に問わず全て該当	該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無		
	開発課	無	無	無	無	無	無	無	無	無			
9 フロン排出・抑制法	自動車のカーエアコンと業務用外排空調機に冷媒として使用されるフロンが対象。ユーザー、フロン回収業者、破壊業者の役割分担により適切にフロン類の回収・破壊処理を進めていかなければならない。	該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無			
	開発課	無	無	無	無	無	無	無	無	無			
10 建築基準法	居室を有する建築物は、その居室内において政令で定める化学物質の発散による衛生上の支障がないよう、建築材料及び換気設備について政令で定める技術的基準に適合するものとならなければならない。	該当有無	無	無	無	無	有	無	無	無			
		申請結果	無	無	無	○	無	無	無	無			
		該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無		
		検査結果	無	無	無	無	無	無	無	無	無		
11 騒音規制法	特定建設作業を行う場合、工事着手7日前迄に届出要 【特定建設作業】 1.くい打機、くい強機又はくい打機、くい強機による打機 3.さく岩機 4.空気圧掘機 5.コンクリートポンプ又は7.5トン以上のハンクホウ 7.トラクターショベル 8.フルドーザー	該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無			
		開発課	無	無	無	無	無	無	無	無	無		
		該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無			
		建設課	無	無	無	無	無	無	無	無	無		

事業推進本部 2022年度

順守評価

更新日: 2023/6/10

環境法規制等の名称/略称	主な要求事項	仕入契約日		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		処理	該当部門	現場名	2023/1/30	2023/2/27	2023/3/6	注文住宅	2023/4/13	2023/5/18	2023/5/30		
12 振動規制法	特定建設作業を行う場合、工事着手7日前迄に届出 【特定建設作業】 1.くい打機、くい掘機又はくい打くい掘機 2.鋼球を使用して破砕する作業 3.鋼製圧砕機 4.ブローカー(手筒式のものを除く。)	届出	開発課	坂根区 栗山町	無	中野区 本町3(借地)	注文住宅	世田谷区 大山町	目黒区 碑文谷6	世田谷区 下馬1			
		無	建設課	無	無	無	無	無	無	無			
13 土壌汚染対策法	有害物質使用特定施設に係る工場又は事業場の敷地であった土地の所有者等は、当該土地の土壌汚染の状況について、環境大臣が指定する者(指定調査機関)に調査させて、その結果を都道府県知事に報告	処置報告	開発課	坂根区 栗山町	無	無	無	無	無	無			
		無	建設課	無	無	無	無	無	無	無			
14 景観法	条例で定める景観計画区域内(0.1ha以上の区域) 屋外の土石、塵埃物、再生資源ほかの堆積(高さ1.5m以上)含む 知事、指定市、中核市の長への届出	無	開発課	坂根区 栗山町	無	無	無	無	無	無			
		無	建設課	無	無	無	無	無	無	無			
15 作業所での作業をするその他の要求事項	騒音・粉塵の発生する作業 ・時間外での作業は事前に通達する ・18歳以降禁止 ・粉塵の発生防止 ・アイドリングストップ	無	開発課	坂根区 栗山町	無	無	無	無	無	無			
		無	建設課	無	無	無	無	無	無	無			
16 都市計画法	・1,000㎡以上の景観形成区域の特定 可也。 【特定商業の規制(300㎡～1,000㎡の範囲で定めず)】 ・30,000㎡以上の区域に占める30㎡以上の特定商業の面積が当該区域の面積の2%以上の公園、緑地又は広場の設置が必要。	届出	開発課	坂根区 栗山町	無	無	無	無	無	無			
		無	建設課	無	無	無	有	無	無	無			
							○						

【建設課】電子マニフェスト（栴環和）2022.04～2023.03

マニフェスト番号	排出日時	状態	排出廃棄物	排出量	単位	排出事業場
15167655286	2023/03/24 14:53	完了	陶磁器くず	3	m ³	世田谷区深沢2棟現場
15167655242	2023/03/24 14:53	完了	廃石膏ボード	2	m ³	世田谷区深沢2棟現場
15167655220	2023/03/24 14:53	完了	木くず	1.5	m ³	世田谷区深沢2棟現場
15167644138	2023/03/24 14:53		廃プラスチック類	1	m ³	世田谷区深沢2棟現場
15167655275	2023/03/24 14:53	完了	紙くず	0.5	m ³	世田谷区深沢2棟現場
15079383152	2023/02/01 15:35	完了	管理型建設混合廃棄物	2.5	m ³	世田谷区深沢2棟現場
15079385592	2023/02/01 15:35	完了	木くず	1.5	m ³	世田谷区深沢2棟現場
15079385570	2023/02/01 15:35	完了	紙くず	3	m ³	世田谷区深沢2棟現場
15097881087	2023/02/01 12:41	完了	管理型建設混合廃棄物	2.5	m ³	世田谷区深沢2棟現場
15097878038	2023/02/01 12:41	完了	木くず	1.5	m ³	世田谷区深沢2棟現場
15097879231	2023/02/01 12:41	完了	紙くず	3	m ³	世田谷区深沢2棟現場
15058449826	2023/01/14 10:03	完了	管理型建設混合廃棄物	3	m ³	久我山1棟現場
15058449815	2023/01/14 10:03	完了	廃石膏ボード	0.1	m ³	久我山1棟現場
15058442896	2023/01/14 10:03	完了	木くず	0.2	m ³	久我山1棟現場
15058449792	2023/01/14 10:03	完了	紙くず	1.7	m ³	久我山1棟現場
15029130977	2022/12/17 16:42	完了	廃石膏ボード	1.5	m ³	世田谷区深沢2棟現場
15029130955	2022/12/17 16:42	完了	陶磁器くず	3.5	m ³	世田谷区深沢2棟現場
15029128581	2022/12/17 16:42	完了	紙くず	1.5	m ³	世田谷区深沢2棟現場
15029130911	2022/12/17 16:42	完了	廃プラスチック類	1.5	m ³	世田谷区深沢2棟現場
15021732898	2022/12/15 11:44	完了	陶磁器くず	0.5	m ³	久我山1棟現場
15021725496	2022/12/15 11:44	完了	廃石膏ボード	1	m ³	久我山1棟現場
15021725485	2022/12/15 11:44	完了	管理型建設混合廃棄物	1.5	m ³	久我山1棟現場
15021725463	2022/12/15 11:44	完了	木くず	0.5	m ³	久我山1棟現場
15021725452	2022/12/15 11:44	完了	紙くず	1.5	m ³	久我山1棟現場
15025874372	2022/12/14 15:43	完了	木くず	1	m ³	久我山1棟現場
15020148540	2022/12/09 10:32	完了	廃石膏ボード	0.3	m ³	川越市笠幡 〇〇〇〇リフォー
15020139865	2022/12/09 10:32	完了	管理型建設混合廃棄物	1.7	m ³	川越市笠幡 〇〇〇〇リフォー
15020139832	2022/12/09 10:32	完了	木くず	0.3	m ³	川越市笠幡 〇〇〇〇リフォー
15020148696	2022/12/09 10:32	完了	紙くず	1.2	m ³	川越市笠幡 〇〇〇〇リフォー
15020139595	2022/12/05 10:32	完了	廃石膏ボード	1.5	m ³	久我山1棟現場
15020137885	2022/12/05 10:32	完了	陶磁器くず	2	m ³	久我山1棟現場
15020139584	2022/12/05 10:32	完了	管理型建設混合廃棄物	2	m ³	久我山1棟現場
15020139528	2022/12/05 10:32	完了	木くず	1.5	m ³	久我山1棟現場
15004916400	2022/11/29 17:29	完了	廃石膏ボード	1.5	m ³	世田谷区深沢2棟現場
15004916398	2022/11/29 17:29	完了	管理型建設混合廃棄物	3	m ³	世田谷区深沢2棟現場
15004916387	2022/11/29 17:29	完了	木くず	0.5	m ³	世田谷区深沢2棟現場
15004916376	2022/11/29 17:29	完了	紙くず	1	m ³	世田谷区深沢2棟現場
15006403885	2022/11/24 17:37	完了	廃石膏ボード	1	m ³	久我山1棟現場
15006399823	2022/11/24 17:37	完了	紙くず	1	m ³	久我山1棟現場
15071490074	2022/11/24 14:52	完了	木くず	1	m ³	久我山1棟現場
15006409207	2022/11/15 17:50	完了	廃石膏ボード	0.2	m ³	久我山1棟現場
15006408352	2022/11/15 17:50	完了	管理型建設混合廃棄物	3.5	m ³	久我山1棟現場
15006409184	2022/11/15 17:50	完了	紙くず	0.4	m ³	久我山1棟現場
15071485944	2022/11/15 14:52	完了	木くず	1.5	m ³	久我山1棟現場
14984093367	2022/11/10 17:51	ロック	廃石膏ボード	0.2	m ³	川越市笠幡 〇〇〇〇リフォー

14984093020	2022/11/10 17:51	ロック	廃石膏ボード	1	m 3	川越市笠幡 〇〇〇〇〇〇リフォー
14984093019	2022/11/10 17:51	ロック	管理型建設混合廃棄物	1	m 3	川越市笠幡 〇〇〇〇〇〇リフォー
14984093008	2022/11/10 17:51	ロック	木くず	1.5	m 3	川越市笠幡 〇〇〇〇〇〇リフォー
14984092984	2022/11/10 17:51	ロック	紙くず	0.5	m 3	川越市笠幡 〇〇〇〇〇〇リフォー
14987987306	2022/11/10 08:51	完了	陶磁器くず	0.2	m 3	世田谷区深沢 2 棟現場
14987985742	2022/11/10 08:51	完了	管理型建設混合廃棄物	2	m 3	世田谷区深沢 2 棟現場
14987987294	2022/11/10 08:51	完了	木くず	2	m 3	世田谷区深沢 2 棟現場
14987987283	2022/11/10 08:51	完了	紙くず	0.3	m 3	世田谷区深沢 2 棟現場
14968157472	2022/10/27 10:43	ロック	陶磁器くず	0.5	m 3	川越市笠幡 〇〇〇〇〇〇リフォー
14968160465	2022/10/27 10:43	ロック	管理型建設混合廃棄物	3.7	m 3	川越市笠幡 〇〇〇〇〇〇リフォー
14968157696	2022/10/27 10:43	ロック	木くず	1	m 3	川越市笠幡 〇〇〇〇〇〇リフォー
14968157461	2022/10/27 10:43	ロック	紙くず	0.8	m 3	川越市笠幡 〇〇〇〇〇〇リフォー
14957695321	2022/10/18 16:36	ロック	管理型建設混合廃棄物	1	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14957690236	2022/10/18 16:36	ロック	紙くず	1	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14968160410	2022/10/13 10:43	ロック	管理型建設混合廃棄物	1.5	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14968160409	2022/10/13 10:43	ロック	木くず	0.5	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14968160386	2022/10/13 10:43	ロック	紙くず	1.5	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14945807828	2022/10/01 16:51	ロック	陶磁器くず	0.5	m 3	川越市笠幡 〇〇〇〇〇〇リフォー
14945814714	2022/10/01 16:51	ロック	管理型建設混合廃棄物	3.5	m 3	川越市笠幡 〇〇〇〇〇〇リフォー
14945807794	2022/10/01 16:51	ロック	木くず	2	m 3	川越市笠幡 〇〇〇〇〇〇リフォー
14936677452	2022/09/28 17:37	ロック	陶磁器くず	1.3	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14936677441	2022/09/28 17:37	ロック	管理型建設混合廃棄物	4	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14936676013	2022/09/28 17:37	ロック	木くず	0.2	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14936676080	2022/09/28 17:37	ロック	紙くず	0.5	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14928673998	2022/09/20 11:01	ロック	陶磁器くず	0.3	m 3	川越市笠幡 〇〇〇〇〇〇リフォー
14928673976	2022/09/20 11:01	ロック	管理型建設混合廃棄物	0.7	m 3	川越市笠幡 〇〇〇〇〇〇リフォー
14928679714	2022/09/20 11:01	ロック	木くず	4	m 3	川越市笠幡 〇〇〇〇〇〇リフォー
14922736330	2022/09/14 09:44	ロック	陶磁器くず	2	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14922730020	2022/09/14 09:44	ロック	廃石膏ボード	1	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14922736307	2022/09/14 09:44	ロック	管理型建設混合廃棄物	2	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14922736262	2022/09/14 09:44	ロック	木くず	1	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14922736240	2022/09/14 09:44	ロック	紙くず	0.5	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14915665333	2022/09/06 13:19	ロック	管理型建設混合廃棄物	1.5	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14915672128	2022/09/06 13:19	ロック	木くず	2	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14915665298	2022/09/06 13:19	ロック	廃石膏ボード	1.5	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14915665243	2022/09/06 13:19	ロック	陶磁器くず	0.5	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14915672195	2022/09/06 13:19	ロック	紙くず	1	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14902922627	2022/08/23 14:56	ロック	紙くず	0.2	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14902922593	2022/08/23 14:56	ロック	陶磁器くず	0.3	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14902925518	2022/08/23 14:56	ロック	管理型建設混合廃棄物	1.5	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14902925507	2022/08/23 14:56	ロック	廃石膏ボード	1.5	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14902922616	2022/08/23 14:56	ロック	木くず	0.5	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14892042909	2022/08/09 15:00	ロック	廃石膏ボード	1	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14892043090	2022/08/09 15:00	ロック	管理型建設混合廃棄物	2	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14892042897	2022/08/09 15:00	ロック	紙くず	1	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14882532193	2022/07/27 15:21	ロック	管理型建設混合廃棄物	1.5	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場
14949395015	2022/07/27 14:17	ロック	木くず	3.5	m 3	吉祥寺南町 3 丁目 2 棟現場

14949391044	2022/07/15 14:17	ロック	木くず	1	m3	吉祥寺南町3丁目 2棟現場
14876157728	2022/07/15 14:16	ロック	廃石膏ボード	1	m3	吉祥寺南町3丁目 2棟現場
14876158011	2022/07/15 14:16	ロック	管理型建設混合廃棄物	1	m3	吉祥寺南町3丁目 2棟現場
14876158000	2022/07/15 14:16	ロック	紙くず	1	m3	吉祥寺南町3丁目 2棟現場
14779954275	2022/04/06 10:12	ロック	管理型建設混合廃棄物	3.5	m3	川崎市宮前区馬絹4
14779954264	2022/04/06 10:12	ロック	紙くず	1.7	m3	川崎市宮前区馬絹4
14779955232	2022/04/06 10:12	ロック	木くず	0.3	m3	川崎市宮前区馬絹4

【検査課】 マニフェスト伝票管理表 2022.04~2023.03

No.	排出現場名	排出担当者	排出日	D票回収期限			E票回収期限			八栄 FAX 送信
				法:90日 社内基準:80日 限内回収目安:70日	D票 回収日	回収 日数	法:180日 社内基準:180日 限内回収目安:170日	E票 回収日	回収 日数	
37423168893	会社倉庫	小野	2022/04/01	2022/6/10	4/22	22	2022/9/18	5/24	54	-
27423168532	会社倉庫	小野	2022/04/04	2022/6/13	4/22	19	2022/9/21	5/24	51	-
37423174526	会社倉庫	長島	2022/04/11	2022/6/20	4/22	12	2022/9/28	5/24	44	-
37423225453	会社倉庫	小野	2022/05/14	2022/7/23	6/22	40	2022/10/31	6/22	40	-
37423228345	会社倉庫	小野	2022/05/20	2022/7/29	6/22	34	2022/11/6	6/22	34	-
37430257233	会社倉庫	小野	2022/06/06	2022/8/15	6/22	17	2022/11/23	7/26	51	-
37430256651	会社倉庫	小野	2022/06/13	2022/8/22	7/26	44	2022/11/30	7/26	44	-
37430396441	会社倉庫	小野	2022/06/27	2022/9/5	7/26	30	2022/12/14	7/26	30	-
27434910505	会社倉庫	小野	2022/07/08	2022/9/16	7/26	19	2022/12/25	8/30	54	-
37434908626	会社倉庫	小野	2022/07/25	2022/10/3	8/30	37	2023/1/11	8/30	37	-
37434725495	会社倉庫	小野	2022/08/25	2022/11/3	9/20	27	2023/2/11	9/20	27	-
37439305341	会社倉庫	吉田	2022/09/02	2022/11/11	9/20	19	2023/2/19	10/21	50	-
37434729920	会社倉庫	小野	2022/09/05	2022/11/14	9/20	16	2023/2/22	10/21	47	-
37434728936	会社倉庫	小野	2022/09/15	2022/11/24	10/21	37	2023/3/4	10/21	37	-
37434724703	会社倉庫	小野	2022/10/04	2022/12/13	10/21	18	2023/3/23	11/18	46	-
37434723583	会社倉庫	小野	2022/10/11	2022/12/20	10/21	11	2023/3/30	11/18	39	-
37439357115	会社倉庫	小野	2022/10/17	2022/12/26	11/18	33	2023/4/5	11/18	33	-
37439310296	会社倉庫	吉田	2022/10/18	2022/12/27	11/18	32	2023/4/6	11/18	32	-
37439313634	会社倉庫	小野	2022/10/28	2023/1/6	11/18	22	2023/4/16	12/20	54	-
37438725111	会社倉庫	小野	2022/11/09	2023/1/18	11/18	10	2023/4/28	12/20	42	-
37438729882	会社倉庫	小野	2022/11/14	2023/1/23	12/20	37	2023/5/3	12/20	37	-
37438623084	会社倉庫	吉田	2022/11/17	2023/1/26	12/20	34	2023/5/6	12/20	34	-
37438623983	会社倉庫	小野	2022/11/21	2023/1/30	12/20	30	2023/5/10	12/20	30	-
37438635102	会社倉庫	小野	2022/11/30	2023/2/8	12/20	21	2023/5/19	1/24	56	-
37439408252	会社倉庫	吉田	2022/12/20	2023/2/28	1/24	36	2023/6/8	2/24	67	-
37439409103	会社倉庫	小野	2022/12/24	2023/3/4	1/24	32	2023/6/12	2/24	63	-
37439407493	会社倉庫	長島	2022/12/23	2023/3/3	1/24	33	2023/6/11	2/24	64	-
37439411026	会社倉庫	小野	2023/01/12	2023/3/23	2/24	44	2023/7/1	2/24	44	-
37446973045	会社倉庫	小野	2023/01/20	2023/3/31	2/24	36	2023/7/9	3/23	63	-
37447060545	会社倉庫	小野	2023/01/30	2023/4/10	2/24	26	2023/7/19	3/23	53	-
37447060221	会社倉庫	小野	2023/02/02	2023/4/13	2/24	23	2023/7/22	3/23	50	-
37446416501	会社倉庫	吉田	2023/02/16	2023/4/27	3/23	36	2023/8/5	3/23	36	-
37446419662	会社倉庫	小野	2023/03/01	2023/5/10	3/23	23	2023/8/18	4/21	52	-
37446479954	会社倉庫	小野	2023/03/28	2023/6/6	4/21	25	2023/9/14	5/23	57	-
88528254216	会社倉庫(亀の子)	長島	2023/03/17	2023/5/26			2023/9/3			

ISO14001 本社業務 順守評価表

対象期間 2022年7月1日～2023年6月30日
更新日 2023/6/13

法規名	要求事項	項目	搬出日	回収業者	処分業者	A票	D票		
廃棄物処理法	当社地下に備付の排水槽に溜まる汚泥を一般廃棄物として適正に処分を行う。		2022.11.16	東和興業株式会社	・株式会社京葉興業 ・株式会社太陽油化	あり 50kg	あり 50kg		
法規名	要求事項	項目	1	2	3	4	5	6	7
水銀廃棄物ガイドライン (平成29年6月)	・「水銀使用製品産業廃棄物」の収集運搬又は処分の許可を受けた事業者 に委託する。 ・水銀回収が義務付けられているもの の処理を委託する場合は、水銀回収 が可能な事業者 に委託すること。								
法規名	要求事項	項目	1	2	3	4	5	6	7
家電リサイクル法	特定家庭用機器の排出の際は、小売店へ料金を支払引き渡す、または自治体指定の方法で引取り依頼する。 【特定家庭用機器】 テレビ(液晶・プラズマ含)、エアコン、電気冷蔵庫及び冷凍庫、電気洗濯機、衣類乾燥機	排出日付	2022/7/1	2022/7/1	2022/8/23				
		対象物	小型冷蔵庫	小型冷蔵庫	冷蔵庫				
		処分方法	家電リサイクル指定引き渡し場所への持込	家電リサイクル指定引き渡し場所への持込	新規購入時 引取依頼				
		回収店舗 処分業者	(株)東邦運輸 東京営業所	(株)東邦運輸 東京営業所	(株)ノジマ ノジマ商品センター				
		証拠書類有無 有の場合は書類 番号	0021-30120013-0	0021-30120010-4	1122- 07094956-5				
法規名	要求事項	項目	1	2	3	4	5	6	7
小型家電リサイクル法	使用済み小型電子機器の排出の際は、関町リサイクルセンターに設置されている小型家電回収ボックスに入れる。 産廃と共に排出する場合は、認定事業者へ排出し、 manifests の管理を行う。 【使用済み小型電子機器】 *練馬区定め9品目 ①携帯電話②携帯音楽プレーヤー③携帯ゲーム機④デジタルカメラ⑤ポータブルビデオカメラ⑥ポータブルカーナビ⑦電子辞書⑧卓上計算機⑨ACアダプター	排出日付	2023.3.9	2023.3.9					
		対象物	ACアダプター	モバイルバッテリー (Wi-Fi)					
		処分方法	関町リサイクルセンターに設置されている小型家電回収ボックスに投入	関町リサイクルセンターに設置されている回収ボックスに投入					
		処分業者	関町リサイクルセンター	関町リサイクルセンター					
		証拠書類有無 有の場合は書類 番号							

法規名	要求事項	項目	第一四半期	第二四半期	第三四半期	第四四半期			
フロン排出抑制法	簡易点検の実施	点検目安	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月			
		点検日付	2022.8.20	2022.11.26	2023.3.24	2023.5.26			
		室外機の異常振動・異常運転音状況	○	○	○	○			
		室外機及び周辺の油のにじみ	○	○	○	○			
		室外機のキズの有無、熱交換器の腐食、錆、傷など	○	○	○	○			
		室内機の熱交換器の霜付きの有無	○	○	○	○			
	定期点検の実施 (3年に1度)	点検目安	次回 2021.4から2024.3に実施						
		点検日付							
		点検業者名	新菱冷熱工業株式会社						
		異常の有無(記録有)	無し						
		異常時の処置内容	無し						
		フロン類の漏洩量の算定結果(記録有)	無し						
		フロン類の回収量と充てん量(記録有)	無し						
		フロン類の漏洩量の算定結果(記録有)	無し						
	平常運転時の異常等への対応	対応日							
		異常等の内容							
		処置内容							
		フロン類の回収量と充てん量							
		フロン類充填日							
		フロン類の漏洩量の算定結果							
	機器入替時の対応	入替日時							
処置内容									
フロン類の種類・回収量と充てん量									
フロン類充填日									
法規名	要求事項	項目	1	2					
消防法	本社屋消防用設備等(特殊消防用設備等)の点検実施 消防法第17条3の3	実施日							
		対象期間	半年	半年					
		点検受託者	ナカムラ防災㈱	ナカムラ防災㈱					
		消火器具点検結果 良・不良	良	良					
		誘導灯及び誘導灯標識点検結果 良・不良	良	良					

環境委員会
2022 年度

前回のマネジメントレビューに対する 改善状況の報告

株式会社大興ネクスタ
ISO14001事務局

報告者

環境管理責任者 町田 守靖

2021年度環境委員会議事録

2022 / 6 / 24

会議の種類 ISO14001 環境委員会

日時 2022年6月24日(金) 10:00~11:20

場所 本社ビル 地下打合せスペース (12名)

出席者 今井会長、今井副社長、川本常務
(監査チーム) 金丸部長、吉田課長
(推進メンバー) 青木係長、太田、佐藤、岡田、横尾
(環境管理責任者) 町田常務、(事務局長) 渋谷

欠席者

参考資料 2021年度環境委員会報告書

議事内容

1. 環境活動報告

① 住まいやすさを向上させる環境に優しい商品の御提案と受注活動 (報告者: 岡田・青木係長)

- ・活動実績を報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容、返答内容は下記の通り。

質問者	内容	返答
今井副社長	貝取のような外注工事だと、省エネ商品を採用するのは難しいと思いますが、設計の段階から積極的に提案を行っていただきたいと思います。	今後は設計段階から積極的に提案を行います。(金丸)
金丸部長	ZEH 住宅については、今後さらに規制が厳しくなり法改正も早まっていますので、標準化の検討など先を見据えて行っていくべきだと思います。	行ってください。よろしく願います。(町田)

② 社内における電気の省エネ活動 (報告者: 横尾)

- ・活動実績を報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容は特になし。

③ 運転方法の注意喚起・車両取扱いの改善による燃費の向上 (報告者: 横尾)

- ・活動実績、来期の目的・目標を報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容は特になし。

2. 内部監査結果の評価（報告者：内部環境監査員 金丸部長）

- ・内部監査結果を報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容は特になし。

3. 記録類の評価

①外部・内部環境情報（報告者：佐藤）

- ・外部・内部環境情報の集計結果を報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容、返答内容は下記の通り。

質問者	内容	返答
町田常務	仕入物件の単価が下がっているのに仕入物件の数が増えたということでしょうか？	はい。仕入物件の単価が下がり、物件数が増えた事と、敷地の小さい物件が多かったため、騒音・振動のクレームが多かったと考えます。（佐藤）
今井副社長	クレームは絶対に0になることはないと思いますが、発生したときに、早急にどう対応するかが大切です。開発や営業の皆さんがすぐに対応できているので、大きなクレームにならずに済んでいるのだと思います。	ありがとうございます。 今後も迅速な対応を心がけます。 （佐藤）
川本常務	クレームを抑制するための方法や改善案などがありますか？	解体工事は上の方から解体し、ある程度進むと養生をはずしていたのですが、解体が終わるぎりぎりまで養生をして、飛散防止になるよう、解体業者に依頼するなど、事前に改善措置をとっております。 （佐藤）

②是正予防処置報告書（報告者：町田常務）

- ・是正予防処置報告書の集計結果を報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容、返答内容は下記の通り。

質問者	内容	返答
今井副社長	断捨離は大変素晴らしい試みだと思います。定期的に行うのですか？	2か月に1度行う予定です。 7月はデータの整理、9月に社内の物理的な断捨離を予定しています。（町田）

③環境教育訓練実施記録（報告者:吉田課長）

- ・環境教育訓練実施記録として提出された記録をもとに報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容は特になし。

4. 順守評価（報告者:環境管理責任者 町田常務）

- ・活動実績を報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容は特になし。

5. 前回のマネージメントレビューに対する改善状況の報告（報告者:環境管理責任者 町田常務）

- ・前回のレビューインプットに対するレビューアウトプットを報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容、返答内容は下記の通り。

質問者	内容	返答
川本常務	長期優良住宅の基準が10月から変わりますが、設計課で調べていること、確認できていることなどを、勉強会を開催して教えていただけたらと思います。	物件によって異なりますが、勉強会は行いたいと思います。(金丸)
今井副社長	作っていただいたSDGsの冊子は素晴らしいと思います。お配りした際に、お褒めの言葉を頂くことが多いです。	ありがとうございます！(渋谷)

6. 環境の変化に関する情報及び改善の為の提案（報告者:環境管理責任者 町田常務）

- ・環境の変化に対する評価を報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容は特になし。

7. 外部及び内部の課題・利害関係者のニーズ及び期待（報告者:環境管理責任者 町田常務）

- ・外部及び内部の課題・利害関係者のニーズ及び期待について環境委員会にて検討。
- ・質問内容、返答内容は下記の通り。

質問者	内容	返答
町田常務	状況分析シートと環境方針を、出力してお渡しいたしますので、ご確認いただき何かございましたらお知らせいただけますと幸いです。	

8. 環境方針の見直し

- ・環境方針の見直しについて確認。
- ・質問内容、返答内容は下記の通り。

質問者	内容	返答
町田常務	状況分析シートと環境方針を、出力してお渡しいたしますので、ご確認いただき何かございましたらお知らせいただけますと幸いです。	

9. 総評及び指示

《川本常務より》

商品企画チームが創設されました。自社で施工・商品化した分譲アパート事業を目指していきます。国や東京都の省エネ基準に法り、屋上に太陽光発電システムを採用するなど、ISO の活動にも関連した商品企画を行っていきますので、よろしく願いいたします。

《今井副社長より》

今後は、より環境に配慮した住宅を作っていただきたいと思います。
また、当社の内部監査は本当に素晴らしいので、佐野主任が加わってよりバージョンアップされることを期待します。

《今井会長より》

環境問題を含め、会社のために真摯に活動を行っていただきありがとうございます。
大切なのは継続して行くこと、そして社会と調和していくことです。会社が理想の形に近づけるよう、力強く社会に貢献していただきたい。前向きに、積極的に、これからも活動を行ってください。

環境の変化に関する情報及び 改善の為の提案

環境の変化に関する情報及び改善の為の提案

報告者

環境管理責任者 町田 守靖

当社の環境マネジメントシステムの有効性を確実にし、継続的改善によりそれを維持する為に必要な環境の変化に関する情報とそれに対する対応や取組みを以下に報告します。

今後、当社の事業活動及び環境管理活動に影響を及ぼす情報を内部と外部に分類し、取組予定と共に記します。

1. 内部環境

当年度の ISO の取組みについては、従前より経営規模に応じた身の丈に合う運用を志して参りましたが、ここ 2～3 年において徐々にではありますが、積極的な環境投資を行う方向へと舵を切って参りました。また昨今の異常気象、地球温暖化といった時代背景から、環境投資に対する国や地方公共団体から多種多様な補助金・助成金が整備された事により、照明機器の LED 化に始まり、太陽光パネルの設置、電気自動車の導入、それに伴う充電設備の設置。非常用電源としても活用可能な V 2 H の導入も近々予定されており、社内環境も大きく変化を遂げています。今後の予定としては、既存社有車の減車、1 BOX 車のエコ車両導入、エアコン機器へ省エネ機材の取り付けを行い消費エネルギーの減少等の施策を行って参ります。また折角の自社ビルを最大限有効活用する為に、太陽光パネルの増設についても検討し、持続可能な本社機能を実現致します。

建築物件に関しては、久我山での東京ゼロエミ住宅 (G2 断熱) への挑戦が大きなトピックです。その他、国の基準である ZEH 等もあり、分かりづらい部分もありますが、ZEH よりも厳しい東京の基準を標準としてゆく事は、昨今の猛暑や寒波を考えると重要な社会貢献となりますので、補助金の有無に関わらず検討する価値はあると考えています。

推進メンバーの入替について、今期は実施が出来ませんでした。来期は、推進メンバーを 5 年間の長期にわたり務めて頂いている開発佐藤さんのメンバー交代を検討します。今後も継続して社内への浸透を目的とし、メンバーの入替を実施して参ります。

最後に、4 期目となった「社内パトロール」や「DAN・SHA・RI」活動も、社内環境の改善につながるだけではなく、様々なコミュニケーションが生まれ、確実に「関係性の質」向上に繋がっています。部署や個人間での温度差を感じる場面もございますが、根となる考え方が浸透しつつあると感じています。これからも、ISO を通じて社内環境も含めた環境整備を進めて参ります。これからも変わらず、地道な活動を継続して行く事で理解と浸透に努めて参ります。

2. 外部環境

ロシアのウクライナへの軍事侵攻は一年以上経った今も終息の目途は立たず、エネルギー価格を筆頭にインフレ経済が猛威を振るっております。一方、3年間続いていた新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが許容できるものまで軽減され、徐々にではありますが、コロナ前の生活を取り戻しつつあります。当社でも、実施していた感染症対策を段階的に取り止め、現在に至っています。この3年間で貴重な体験として今後活かします。また、対話型AIであるChat-GPTも世界中を席捲しています。当社でもどのように活用できるのか研究する余地があると認識しています。業務効率化を通して環境との親和性も高いと考えています。働き方、働く場所などに多大な影響を与える技術として、慎重に導入を検討して参ります。

最近では、企業の社会に対する姿勢に、より一層の厳しい視線が注がれていると感じます。とあるインターネット調査では、「SDGsに取り組む企業に好感を持てるか？」との質問に80%の人が「好感が持てる」との回答をする一方、「SDGsに企業が取り組むのは当たり前だ」との質問へは、70%以上の人が回答している。我々を取り巻く人々は、企業は世の中の為に何が出来るのか、何をしてくれるのかを求められているとの自覚を持つべきだと思う。ただ逆から見れば環境や社会に対する向き合い方が正しいものであれば、より高い評価を受け得る事が可能であると意味しています。地道に活動すべきところは維持継続し、新たに取り組むべき事由は積極果敢に挑戦する事が重要となると考え、そのように進めて行きます。

前年のこの場で触れさせて頂いた、温暖化ガス排出量の開示義務に関してお話しします。現在義務を課せられているのは大企業のみとなります。不動産大手企業は、サプライチェーンで関係する他社の炭素排出状況を集計したスコープ3まで開示資料を確認する事が出来ませんが、戸建供給を主業とする大手企業では、今のところ自社で測定可能なスコープ1・2のみの開示に留まっていることが確認できました。ただ注記によると今後は協力業者へ排出量の提供を求め、各スコープでの削減計画を策定する方向性だそうです。仮に当社で把握する場合には、建物に関わる全ての協力会社へ測定を依頼し集計し分析する作業が発生します。相当な時間とコスト負担が生じる事が想像されます。その為、Co2 排出量の開示に関するコンサルティング業者や集計分析するシステムの紹介が様々な展示会や雑誌で展開されています。当社で現在把握しているのは、自社で管理する自動車や電気などのエネルギーに関するもののみであり把握が容易です。今後、脱炭素に関わる排出量報告は当たり前となる可能性も有る事から、当社としてもその必要性について注視してゆく必要があります。

昨年宣言した「近隣の防災拠点となるべく備えを厚くする」との将来展望ですが、備蓄場所が分散し非効率な管理状況となりつつあるので、社内改修PJ等と協力して備蓄個所の統一を図ります。そんな中でも、何とか全社員の5日分の備蓄量まで増加する事が出来ました。来年は7日分まで増量を進めて参ります。進みは遅いですが、目標である関町東の防災拠点とすべく、活動を続けて参ります。

以上

外部及び内部の課題 利害関係者のニーズ及び期待

7

外部及び内部の課題・利害関係者のニーズ及び期待

「外部及び内部の課題」、「利害関係者のニーズ及び期待」につきましては、下記「状況分析シート」にまとめております。また、事業活動や環境側面に伴う環境影響を決定、「環境影響評価表」に示し、今期の取組みを決定しております。

状況分析シート

2023年5月1日

当社の状況	外部課題	内部課題	順守義務	環境側面	利害関係者	利害関係者のニーズ及び期待	リスクまたは機会		取組検討項目 ◎…今期目標
							リスク	機会	
人材の不足・社員の高齢化 若手の育成・力量の不足	○	○			従業員	・ウェルビーイングの追求 ・若手の採用 ・人事制度全般の刷新	ノウハウ、技術の伝承が途絶える・会社の存続が危うい・マネジメント力の弱体化	高い経験値を伝える余地があり、若い方の成長機会がとれる	・教育制度の構築 ・人事制度の構築
低炭素社会への対応(重要度UP)	○	○	○	○	顧客	・省エネルギー住宅 ・資産価値の高い住宅 ・環境に配慮した企業	顧客からの選択機会の喪失	・補助金活用による販売促進 ・ガソリン・電気・省エネ ・コスト削減 ・環境意識の高い企業	◎OB顧客への省エネ商品リフォーム推進 ◎電気使用量のウォッチ ◎分譲住宅におけるG2新築仕様の採用 ◎グリーン商品購入の推進 ・燃費改善策の実施 ・電子公告の強化(ホームページ・SNS・YouTubeなど)
現場近隣住民からの苦情(テレワーク増加による) OB顧客からの不具合	○	○	○	○	近隣住民(会社・現場)	・良好なコミュニティ形成 ・地域貢献 ・環境保全(大気汚染・土壌汚染・振動・粉塵等) ・良好な街づくり	地域住民からの苦情によるイメージダウン	要なる品質向上改善が見込める・接触機会が増える	・部門間フィードバックの実施と改善 ・クレームの全社共有 ・建築現場の社内検査実施 ・建物完成時に改善を含めた社内覧会実施 ・地域環境に配慮したプランニング
注文住宅市場での競合との競争激化 集客不足	○	○			協力業者 従業員	安定した発注量	受注高の減少	他社との差別化	・『SE構法』の採用による、環境負荷低減 ・環境負荷を抑制する商品の採用と勉強会 ・ブランディング、セールスマーケティング活動の強化
インフレ経済 建築費の高騰 職人の不足	○				協力業者	・相互便益 ・良好な関係性の継続 ・労働環境の安全と衛生	収益悪化・利益減少 技術の伝承が途絶える 工期遅延・職人の取合い	付加価値の開発による顧客からの選択機会の増加	・取引条件の見直し ・建築業界におけるネットワーク強化、職人数の確保策 ・魅力ある建物のプランニング強化など、付加価値の向上
リサイクルの推進		○		○	社会	・環境保護	イメージダウン	資源の有効活用によるコスト削減・会社のイメージアップ	◎グリーン商品購入の推進 ・裏紙の活用 ・産業廃棄物の抑制 ・リサイクル活動の推進
ネット環境の高速化と技術の発展・進化	○				顧客 社会	・多様なコミュニケーション環境 ・情報提供アプローチの複雑化	表面的な顧客情報収集	・ターゲット層との直接的なアプローチ、マーケティング活動 ・双方向コミュニケーション機会の増加	・ITシステムの導入と代替

<管 理 部>

環境影響評価表 良い影響...○(1点) 悪い影響...●(2点)

インプット または アウトプット	活 動				環 境 影 響								評 価			判 定				
	環境側面	設備又は作業	定常時 非常時 緊急時	直接 間接	発生量 又は 貯蔵量	人の健康	公害（騒音・悪臭・振動）	地盤沈下	地下水・土壌汚染	大気汚染	水質汚染	廃棄物処分場の圧迫	地球温暖化	他の地球環境問題（森林資源・有害物）	資源の枯渇	影響の評価点（合算） 良い影響：○（1点）悪い影響：●（2点）	影響の結果の重大性（高・低）	影響の発生の可能性（大・小）	登録（環境目標）	運用管理
インプット	電気の使用	照明器具の使用	定常時	直接	月71.2kwh/人				●			●	●	●	6	低	大	◎		
		OA機器の使用	定常時	直接					●				●	●	6	低	大	◎		
		冷暖房の使用	定常時	直接					●				●	●	6	低	大	◎		
	ガスの使用	冷暖房・給湯器の使用	定常時	直接	月13.0m ³ /人				●			●	●	6	低	大		○		
	紙の使用	コピーの使用	定常時	直接	月1.9kg/人							●	●	●	4	低	大		○	
	裏紙の利用	裏紙の利用	定常時	直接									○	○	2	低	大		○	
	ガソリンの使用	社有車の使用	定常時	直接	月119.284/台	●	●		●			●	●	●	10	高	大		○	
	水の使用	洗い場・トイレの使用	定常時	直接	月0.34m ³ /人					●					2	低	大		○	
	グリーン商品の購入	本社事務商品・消耗品などの購入	定常時	直接	利用率00.60%							○	○	○	○	4	低	大	◎	
	緑の保全活動	緑馬みどりの葉っぱい基金へ寄付	定常時	間接	100,000円/年	○			○	○	○	○	○	○	6	低	小			
アウトプット	可燃ゴミの発生	社内全体での発生	定常時	直接	月55.6kg	●			●			●		6	低	大		○		
	プラリサイクルゴミの発生	社内全体での発生	定常時	直接	月7.2kg								●	●	2	低	大		○	
	不燃ゴミの発生	社内全体での発生	定常時	直接									●	●	2	低	大		○	
	排気ガスの発生	社有車の使用	定常時	直接	276.97 kg-co2/Q	●	●		●			●	●	●	10	高	大		○	
	トイレ・汚水槽汚泥の発生	業者による回収	定常時	直接	年50kg	●	●								4	低	小			
	フロンの発生	冷暖房の故障により発生	緊急時	直接									●	●	2	低	小			
	小型家電リサイクルゴミの発生	社内全体での発生	定常時	直接	2件							●	●	●	4	低	小			
	家電リサイクルゴミの発生	社内全体での発生	定常時	直接	3件							●	●	●	4	低	小			
	粗大ゴミの発生		定常時	直接	産廃業者							●	●	●	2	低	小			
	資源ゴミの発生	ペットボトル・ビン・缶	定常時	直接	業者回収							●	●	●	4	低	小			
	紙ゴミの発生		定常時	直接	リサイクル回収								●	●	2	低	小			
	火災の発生		緊急時	間接		●	●		●	●	●	●	●	●	12	高	小		○	
	停電		緊急時	間接		●	●								2	低	小			
自然災害の発生	地震	緊急時	間接		●	●	●	●	●	●	●	●	●	14	高	小		○		
	水害	緊急時	間接		●	●	●	●	●	●	●	●	●	10	高	小		○		
	台風	緊急時	間接		●	●					●	●	●	4	低	小				
ウィルス感染症	新型コロナ感染	緊急時	直接		●									2	低	小				

<事業推進本部>

環境影響評価表 良い影響・・・○(1点) 悪い影響・・・●(2点)

インプット または アウトプット	活動					環境影響								評価			判定		
	環境側面	設備又は作業	定常時 非常常時 緊急時	直接 間接	発生量 又は 貯蔵量	人の健康	公害(騒音・悪臭・振動)	地盤沈下	地下水・土壌汚染	大気汚染	水質汚染	廃棄物処分場の圧迫	地球温暖化	他の地球環境問題(森林資源・有害物)	資源の枯渇	影響の評価点(合算) 良い影響:○(1点) 悪い影響:●(2点)	影響の結果の重大性(高・低)	影響の発生の可能性(大・小)	登録(環境目標)
インプット	土壌汚染	土壌汚染された土地の購入	緊急時	直接	0件	●		●							4	低	小		
	自主検査の実施	防水・木完・竣工検査	定常時	直接	100%	○						○			2	低	小		
	住宅性能表示制度に対応した設計	耐震等級・劣化対策等級・維持管理対策等において最高等級を取得	定常時	直接	100%	○			○			○		○	4	低	小		
アウトプット	特定家庭用機器	解体工事の発注(16件)	非常常時	間接	16件				●			●			4	低	小		
	特定建設資材		非常常時	間接	7		●					●			4	低	小		
	振動の発生		非常常時	間接	16件	●	●								4	低	小		
	騒音の発生		非常常時	間接	16件	●	●								4	低	小		
	廃棄物の発生		非常常時	間接	16件						●	●				4	低	小	
	アスベストの飛散	造成工事の発生(9件)	非常常時	間接	4件	●									2	低	小		
	振動の発生		非常常時	間接	9件	●	●								4	低	小		
	騒音の発生		非常常時	間接	9件	●	●								4	低	小		
	廃棄物の発生		非常常時	間接	9件							●	●			4	低	小	
	廃プラスチック類廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	0.0m ³ /棟						●	●	●		6	低	大		○
	紙くず類廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	3.5m ³ /棟						●	●	●		6	低	大		○
	木くずの廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	7.9m ³ /棟						●	●	●		6	低	大		○
	金属くずの廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	0.0m ³ /棟						●	●	●		6	低	大		○
	陶磁器くず廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	2.0m ³ /棟						●	●	●		6	低	大		○
石膏ボード廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	2.8m ³ /棟						●	●	●		6	低	大		○	
管理型建設混合廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	9.2m ³ /棟						●	●	●		6	低	大		○	
コンクリート破片廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	0.0m ³ /棟						●	●	●		6	低	大		○	
段ボールリサイクル	建築工事全般	定常時	直接	0.0m ³ /棟						○	○	○		3	低	大		○	
産業廃棄物の発生	本社・アフターサービス	定常時	直接	71.6m ³ /年						●	●	●		6	低	大		○	
住宅における環境負荷の低減	※精進による新築住宅建築受注率向上	定常時	間接	100%					○	○	○	○		4	低	大		○	
住宅における環境負荷の低減	※環境負荷を抑制する商品の提案・発注	定常時	間接	目標管理					○			○	○	4	低	大	◎		

環境委員会
2022 年度

環境方針の見直し

株式会社大興ネクスタ
ISO14001事務局



環 境 方 針

私たち株式会社大興ネクスタは、人が住まう「住空間」を提供する企業として、分譲戸建住宅事業／注文住宅事業（Modula シリーズ）・分譲アパート事業（Archx シリーズ）・中古住宅リノベーション事業の設計、施工、販売を通じ、省エネルギー・省資源を推進し環境負荷の低減を図っています。分譲戸建住宅事業/注文住宅事業では、高耐久・長寿命のSE 構法を採用し、地球環境に優しい住まいづくりを目指します。

また、我々のミッションは「社会資本の再整備・環境との共生」であると捉え、既存マンション建替事業・底借地整理事業・等価交換事業等の不動産再生事業を通じ、環境の保全に配慮しながら社会資本を循環させ、顧客と地域社会にとって、より安全で安心できる安らぎ溢れる豊かな住宅環境の実現に取り組んで参ります。

1. ISO14001に準拠した環境システムを構築し、環境管理活動を推進します。
2. 当社の事業活動が環境に与える影響を考慮し、環境目的・環境目標・環境管理計画を定め、定期的な見直しにより、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
3. 環境関連の法律、規則、協定などを遵守するとともに、自主基準を設定し、環境汚染の未然防止に努めます。
4. 当社の事業活動が環境に与える影響のうち、重点テーマとして次の項目に取り組みます。
 - (1) 地球温暖化防止のため、省エネルギー・省資源・創エネルギーの推進に努めます。
 - (2) 当社の販売する住宅において、環境負荷の低減に努めます。
 - (3) 循環型社会の実現のため、グリーン購入の推進に努めます。
5. この環境方針は、当社の全従業員及び協力業者に周知徹底し、意識の向上を図るとともに、広く一般の人々にも公表します。

2021年11月1日

株式会社大興ネクスタ
代表取締役 今井 榮一